M0011256

UPSS

ON LINE UPS

UPSS-X2

ＬＣＤパネル

操作説明書

UPS ソリューションズ株式会社

はじめに

このたびは、当社製品＜Uninterruptible Power Supply **無停電電源装置** ＵＰＳＳ－Ｘ２（以下ＵＰＳという）＞をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
この操作説明書には、のＬＣＤパネルのメニュー、機能と操作方法について記載されています。
ＬＣＤパネルの操作をする前に必ずこのＬＣＤパネル操作説明書をお読みください。ＵＰＳの設置、操作についてはＵＰＳの取扱説明書をご覧ください。お読みになった後は、その他の取扱説明書といっしょにいつでもご覧になれる場所に保管してください。

目次

§１．ＬＣＤパネルの名称と機能 1
§1.1 ＬＣＤパネルの各部の名称 1
§1.2 ホームメニューの機能 2
§1.3 ＬＣＤパネルの操作方法 3

§２．ＵＰＳ の状態を見る 4
§2.1 ＵＰＳの運転状態を見る 4
§2.2 ＵＰＳの計測情報を見る 5

§３．ＵＰＳの設定をする 6
§3.1 電圧を設定する 8
§3.2 周波数同期追従範囲を設定する 9
§3.3 周波数を設定する 10
§3.4 計測情報に表示される電圧を設定する 11
§3.5 インタフェースを設定する 12
§3.6 通信ボーレートを設定する 13
§3.7 復電時の動作を設定する 14
§3.8 ブザー音が鳴る条件を設定する 15
§3.9 ＵＰＳ本体操作パネル ⊙ のＯＦＦ操作を設定する 16
§3.10 過負荷時の動作を設定する 17
§3.11 ◎ ＯＦＦ時のＵＰＳ給電状態を設定する 18
§3.12 バッテリ電圧低下警告発生のタイミングを設定する 19
§3.13 バッテリテストの実行時間を設定する 20
§3.14 バッテリテストのスケジュールを設定する 21
§3.15 停電時のバックアップ時間を設定する 22
§3.16 ＲＩＮＧ信号の設定をする 23
§3.17 出力電圧の調整値を設定する 24
§3.18 時刻を設定する 25
§3.19 並列接続するＵＰＳユニットの台数を設定する 26
§3.20 運転システムを設定する 27
§3.21 入力相数を設定する 28
§3.22 設定値をリセットする 29
§3.23 ＵＰＳを再起動する 30

§４．ＵＰＳの操作をする 31
§4.1 バッテリテストをする 32
§4.2 バッテリテストの結果を見る 34
§4.3 ＵＰＳを起動する または 停止する 35
§4.4 バイパス運転に切り換える 36

§５．メンテナンスメニュー（サービス員用） 37

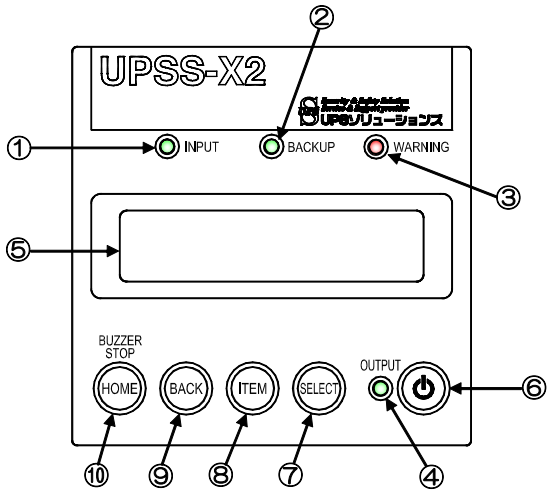
§６．メニュー一覧 38

§７．状態表示説明 41

§８．計測情報表示について 42

§1. ＬＣＤパネルの名称と機能

§1.1　ＬＣＤパネルの各部の名称

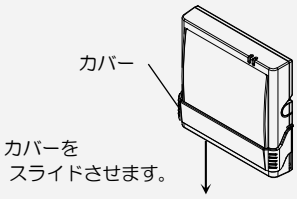


番号	名称	表示	色	機能	
①	入力 LED	INPUT	緑	点灯	入力電源が正常な場合
				点滅	入力電源が異常な場合
②	バックアップ LED	BACKUP	緑	点灯	バッテリ運転中
③	警告 LED	WARNING	赤	点灯	注意・警告情報または故障発生時、バッテリ運転放電終止
④	出力 LED	OUTPUT	緑	点灯	インバータ運転による給電中
				点滅	バイパス運転による給電中
⑤	LCD 画面	－	－	ＵＰＳの状態情報、計測値、保守支援情報、各種設定値、操作などを表示	
⑥	ON/OFF ボタン	－	－	インバータ運転の起動・停止操作	
⑦	SELECT キー	SELECT	－	LCD 表示項目・内容の選択・決定	
⑧	ITEM キー	ITEM	－	LCD 表示項目・内容の切り換え	
⑨	BACK キー	BACK	－	選択の取り消し、LCD 表示（メニュー）階層を戻す	
⑩	HOME キー	BUZZER STOP HOME	－	LCD 表示（メニュー）階層をホームメニューに戻す ブザー鳴動中、ブザー音の停止	

ＬＣＤパネルについて

- LED の図表示について
  LED は、操作説明書の中で【INPUT㊝】、【WARNING㊟】のように表示されています。

- ＬＣＤパネル操作部のカバーについて
  ON/OFF ボタン、キーを操作するときは、
  カバーを下にスライドさせます。
  操作後は、誤操作防止のため、もとに戻してください。



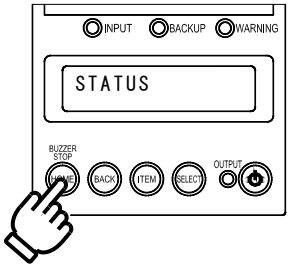
§1.2　ホームメニューの機能

ＬＣＤパネルには、下記の５つのホームメニューがあります。それぞれのメニューの機能により、設定グループ、設定項目などがあります。表示文字の内容、設定方法の詳細は、それぞれのページをご覧ください。表示項目、設定項目の一覧は「§６.メニュー一覧」をご覧ください。

ホームメニュー	機能	詳細
STATUS ４ページ参照	ステータス／状態表示 ＵＰＳの状態が表示されます。	状態表示項目： 装置の運転モード、 入力電力、出力電力、バッテリ状態、 装置内部の異常、負荷率 など
MEASUREMENT ５ページ参照	メジャーメント／計測表示 ＵＰＳの計測値が表示されます。	計測表示項目： 入力電力（電圧、周波数） 出力電力（電圧、電流、負荷率、周波数） バッテリ（電圧、充電率、運転時間、寿命、停電発生回数） 充電電力（電圧、電流） 温度（装置周囲、バッテリ温度）
SETTING 6～29 ページ参照	セッティング／設定 ＵＰＳの各種設定をします。	設定項目： 入 出 力：電圧、周波数、表示 インタフェース：インタフェース、通信ボーレート 動　　作：起動動作、ブザー音、停止操作、 過負荷時の動作、出力停止時の動作 バッテリ：バッテリ電圧低下警告タイミング バッテリテスト時間、テスト周期 機　　能：停電時運転時間、リング信号、出力電圧調整 システム：時刻、ユニット接続台数、運転システム、 入力相数
CONTROL 31～36 ページ参照	コントロール／操作 ＵＰＳの操作をします。	操作項目： バッテリテスト、テスト結果表示 ＵＰＳの起動／停止 バイパス運転切り換え
MAINTENANCE 保守説明書（サービス員用）	メンテナンス／保守 サービス員用のメニューです。 保守用の情報表示、または 設定をします。 お客様は操作をしないでください。 操作方法はサービス員用の保守 説明書に記載されています。	表示項目： 故障履歴表示、操作履歴表示、バッテリ情報、 各ユニット運転状態、各ユニット計測値 設定項目： バッテリバックアップ時間、バッテリ寿命

§1.3　ＬＣＤパネルの操作方法

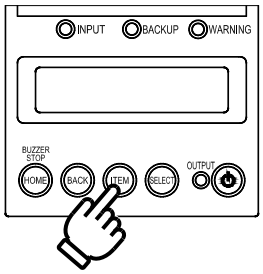
① カバーを下へスライドさせ、 HOME を押して
LCD 画面を表示させます。



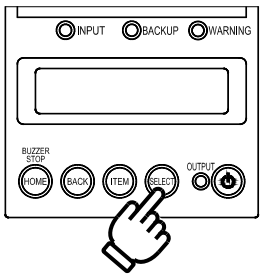
ご注意

- ＵＰＳのブザーが鳴っているときに、HOME を押した場合は、ブザー音が停止します。１回押してブザー音が停止しない場合は、ブザー音が停止するまで、複数回押してください。ブザーが鳴っていない状態で HOME を押さないとＬＣＤ画面にメニューは表示されません。
- ＬＣＤ画面は、10分以上操作をしないとパネルのライトが消灯します。約30秒後にスクリーンセーバーとして、ＵＰＳ運転モード、入出力電力の計測値情報などがランダムに表示されます。
  いずれかのキーを押すとホームメニューの「STATUS」が表示されます。
- 実際にＬＣＤ画面に表示される文字は、操作説明書に記載されている文字列、配置と異なる場合があります。

② ITEM を押して画面を切り換えます。



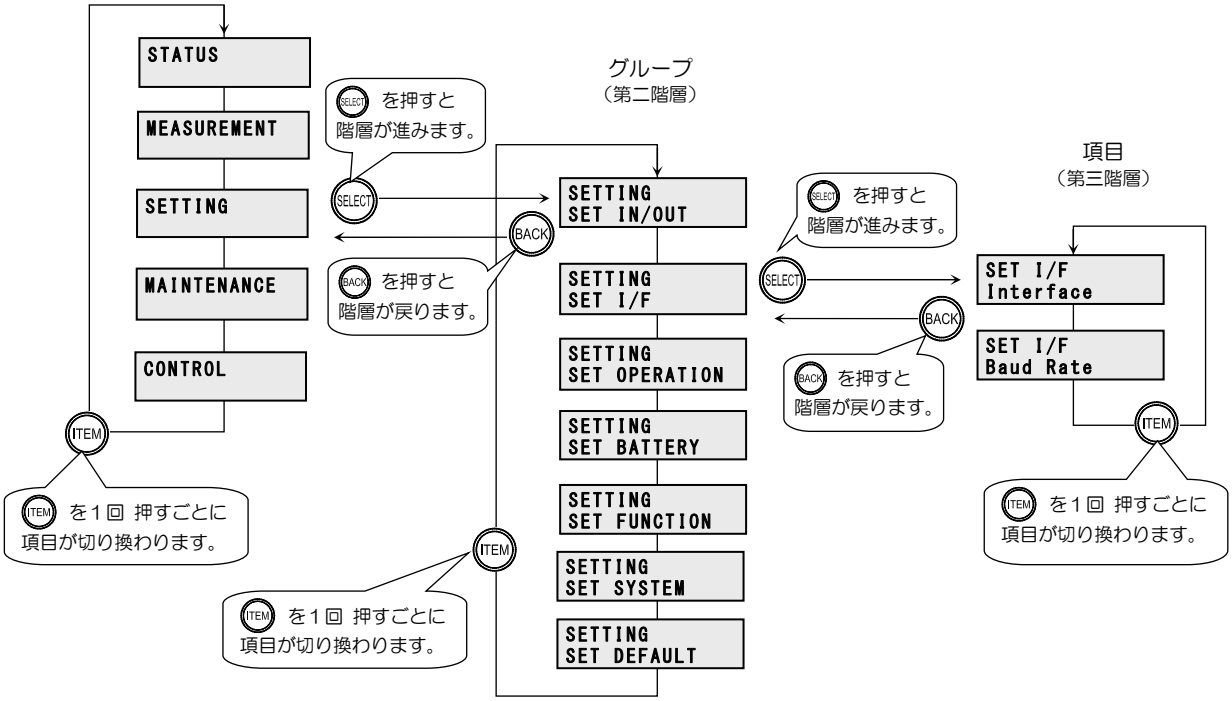
③ SELECT を押して項目を決定します。



手順②と手順③を繰り返して
表示または設定をします。

例：「SETTING」 画面で SELECT を押して、SETTING メニューの項目から、インタフェース設定へ進む場合。

メニューはすべて下図のような階層で構成されています。
SELECT を押すと階層が進み、BACK を押すと階層が戻ります。
それぞれの階層の項目があり、ITEM を１回押すごとに項目が切り換わり巡回します。
画面に表示されている項目で、SELECT を押すと、項目が決定され階層が進みます。
階層、項目の数はメニューにより異なりますが、操作方法は同様です。



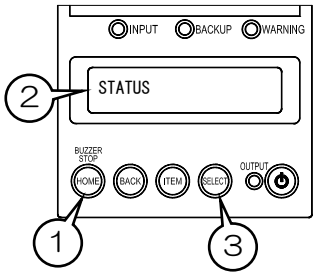
④ HOME を押してホームメニューに戻り、カバーをもとの位置に戻します。

メニューの内容、選択画面の詳細などは各項目のページをご覧ください。

§2. ＵＰＳの状態を見る

§2.1　ＵＰＳの運転状態を見る

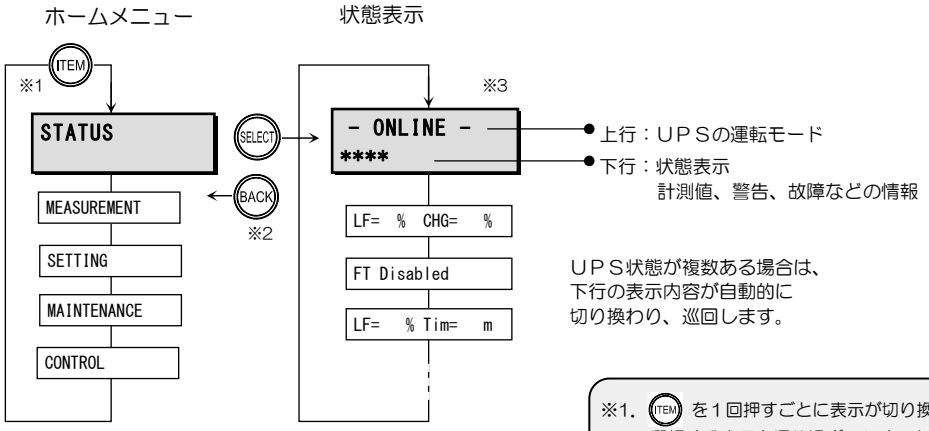
現在のＵＰＳシステムの運転状態を見ることができます。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② 「STATUS」が表示されていることを確認します。

③ SELECT を押して状態を表示させます。



ＵＰＳ状態が複数ある場合は、
下行の表示内容が自動的に
切り換わり、巡回します。

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。

※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。

※3. 表示された内容の詳細につきましては、購入先または当社までお問い合わせください。また、装置異常、故障などが表示されたときは、購入先または当社までご連絡ください。

ＵＰＳの状態により、画面上行に、下表のいずれかのＵＰＳ運転モード、下行に状態が表示されます。
表示された状態の詳細、対応方法は「§7. 状態表示説明」をご覧ください。

ＵＰＳ運転モード（上行）		状態表示　（下行）			
表示	内容	表示	内容	表示	内容
STANDBY	待機中	Output Not Sync	非同期運転	Batt Life End	バッテリ寿命
ONLINE	オンライン	Input Freq Err	入力周波数異常	Batt Life Warn	バッテリ寿命警告
BYPASS	バイパス運転中	Input Vol Hi	入力過電圧	Batt Vol Error	バッテリ電圧異常
BATTERY	バッテリ運転中	Input Vol Low	入力電圧低下	Batt Vol End	バッテリ放電終止
BATT TEST	バッテリテスト中	Input Error	入力異常	Batt Vol Low	バッテリ電圧低下
SYS FAILURE	システム故障中	INV Vol Hi	インバータ過電圧（重故障）	CHG Error	充電器異常（重故障）
		INV Vol Low	インバータ電圧低下（重故障）	CONV Error	コンバータ異常（重故障）
		INV Vol Error	インバータ電圧検出回路異常（重故障）	BF Circuit Error	バックフィード防止回路異常（重故障）
		Output Stop (HV)	バイパス出力断（過電圧）	FIN Temp Error	フィン温度異常（重故障）
		Over Load	過負荷	DSP Error	コントローラ異常（重故障）
		Vo=　V Fo=　Hz	出力電圧、出力周波数	BUS Error	直流電圧異常（重故障）
		Vi=　V Fi=　Hz	入力電圧、入力周波数	AUX2 Error	補助電源異常（軽故障）
		LF=　% CHG=　% ※	負荷率　%、充電率　%	Total Unit# Err	総ユニット数エラー（重故障）
		LF=　% Tim=　m ※	負荷率　%、放電時間　分	LCD Error	LCD パネル異常
		Byp Fuse Error	バイパスヒューズ異常（軽故障）	Minor Error	軽故障
		Bypass SW ON	バイパススイッチ ON	Fatal Error	重故障
		Req To Restart	再起動要	FT Disabled	冗長運転不可（軽故障）
		Remote	遠隔操作によるバッテリテスト実行中	Check Unit Error	ユニット異常あり、確認要
		Remote OFF	Remote OFF による停止中	EPO ON	EPO による停止中

※.「§8 計測情報表示について」をご覧ください。

④ HOME でホームメニューに戻ります。

§2.2　ＵＰＳの計測情報を見る

ＵＰＳの各種の計測値を見ることができます。表示された計測値はＵＰＳシステムの数値です。

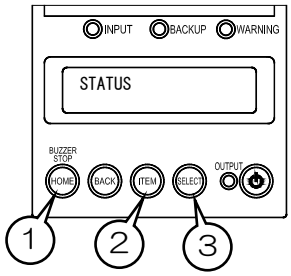
① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「計測項目」→「計測値」へ進みます。

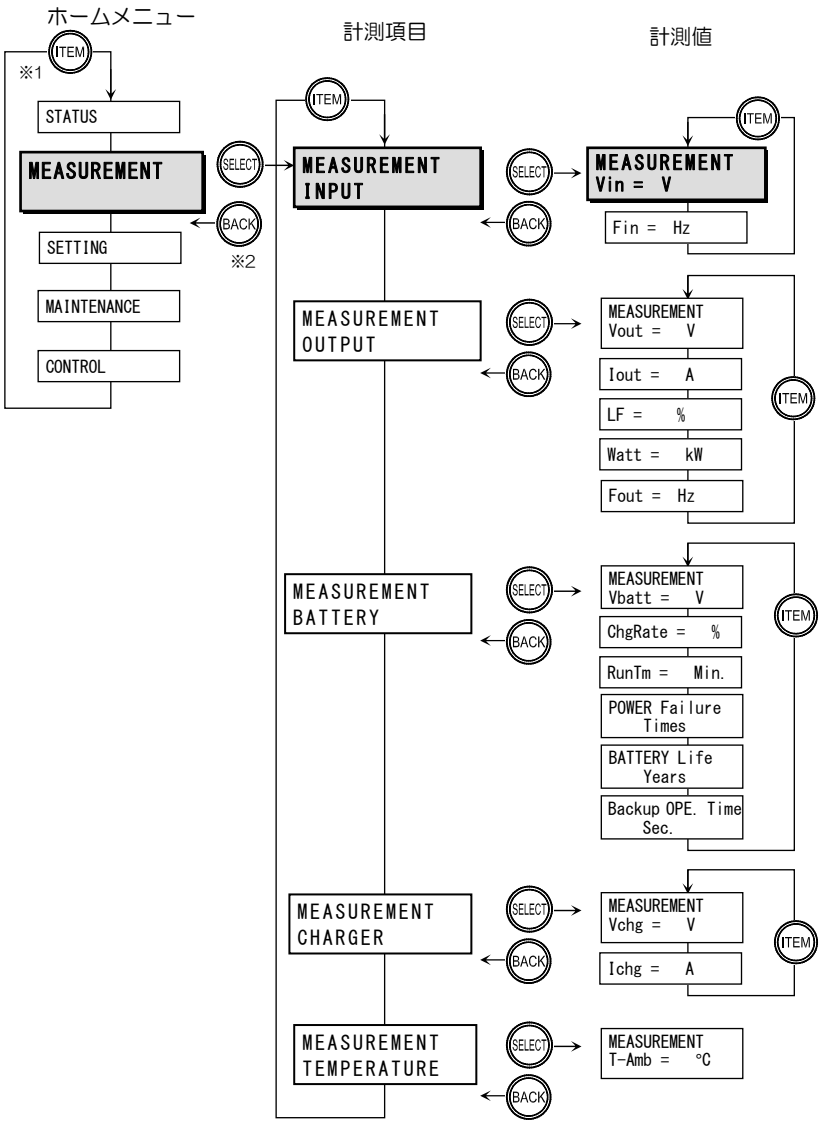
⑤ ITEM で計測項目を切り換え、見たい計測値を表示させます。



ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。

例：ＵＰＳの入力電圧値を見る



計測項目	計測値	
	計測値表示	内容
INPUT 入力計測値	Vin = V	入力電圧
	Fin = Hz	入力周波数
OUTPUT 出力計測値	Vout = V	出力電圧
	Iout = A	出力電流
	LF = % ※	負荷率
	Watt = kW	出力電力
	Fout = Hz	出力周波数
BATTERY バッテリ計測値	Vbatt = V	バッテリ電圧
	ChgRate = % ※	バッテリ充電率
	RunTm = Min. ※	バッテリ残保持時間
	Power Failure Times	停電発生回数
	Battery Life Years	バッテリ寿命
	Backup OPE. Time Sec.	バッテリ運転積算時間
CHARGER 充電器計測値	Vchg = V	充電器電圧
	Ichg = A	充電器電流
TEMPERATURE 温度計測値	T-Amb = °C	周囲温度

※.「§8 計測情報表示について」をご覧ください。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3. ＵＰＳの設定をする

設定メニューには、設定項目別に７つの設定グループがあります。工場出荷時は、初期設定欄に「※」印がある設定値に設定されています。ご使用の環境、用途に合わせて設定してください。設定方法、設定値の詳細は、§3.1～§3.22 の各項目をご覧ください。
設定を変更した場合は、現在の設定欄にチェックをしておくことをお勧めします。

設定項目一覧表

ホームメニュー：SETTING

設定グループ	設定項目			設定値		初期設定	現在の設定	参照項目	参照ページ
	表示	内容		表示	内容				
SET IN/OUT 入出力設定	Voltage	電圧 ★	UPS の電圧を設定。 出力電圧と入力電圧は同一。	200V	出力電圧200V	※		3.1	8
				220V	出力電圧220V				
				230V	出力電圧230V				
				240V	出力電圧240V				
				208V	出力電圧208V				
	FREQ Range	周波数同期 追従範囲 ★	出力周波数の入力周波数に 追従する範囲(%)を設定。	1%	±1%			3.2	9
				3%	±3%	※			
				5%	±5%				
	Frequency	出力周波数 ★	出力周波数を設定。	Auto	自動選択	※		3.3	10
				50Hz	50Hz固定				
				60Hz	60Hz固定				
	Display	電圧電流表示	計測表示などで表示される 入出力電圧、電流を設定。	200V/200V(S)*3	200V/200V(S)	*2		3.4	11
				200V/100V	200V/100V				
				100V/200V	100V/200V				
				100V/100V	100V/100V				
				200V/200V	200V/200V				
SET I/F インタフェース設定	Interface	インタフェース	PC インタフェースコネクタ 使用時のインタフェースを 設定。	Standalone	スタンドアロン			3.5	12
				WS	ワークステーション	※			
				Terminal *1	ターミナル				
	Baud Rate	通信ボーレート	パーソナルコンピュータ、LAN カード、ワークステーション 接続時の通信ボーレートを設定。	9600	9600bps	※		3.6	13
				4800	4800bps				
				2400	2400bps				
SET OPERATION 動作設定	Start Condition	復電時の動作	停電発生時、バッテリ放電終止 による UPS 停止後、商用電源が 復電した場合の UPS の動作を 設定。	Auto	自動起動	※		3.7	14
				Any Condition	常時起動				
				STOP	停止				
				BATT>30%	充電率30%以上で起動				
				BATT>50%	充電率50%以上で起動				
				BATT>80%	充電率80%以上で起動				
	BUZZER	ブザー音	ブザー音が鳴るタイミングを 設定。	ALL	すべて	※		3.8	15
				Group #1	グループ１				
				Group #2	グループ２				
				SILENT	停止				
	OFF Operation	OFF 操作	UPS を停止する場合の本体操作 パネル◉の OFF 操作を設定。	1 Sec.	１秒間押下でOFF	※		3.9	16
				3 Sec.	3秒間押下でOFF				
				Unique	特殊操作でOFF				
	OVERLOAD	過負荷時の動作	過負荷によるバイパス給電への 切換後の動作を設定。	Auto Ret BYP	バイパス自動復帰			3.10	17
				Stay on BYP	過負荷時バイパス給電	※			
				Output OFF *1	出力停止				
	Output @OFF	OFF 時 ★ 給電状態	UPS 停止時の出力の給電状態 を設定。	OFF	出力停止	※		3.11	18
				BYPASS	バイパス給電				
SET BATTERY バッテリ設定	BATLV Timing	BATLV タイミング	バッテリ電圧低下警告の 発生タイミングを設定。	Voltage	バッテリ電圧レベル検出	※		3.12	19
				2 Min.	バッテリ容量残り2分				
				3 Min.	バッテリ容量残り3分				
				5 Min.	バッテリ容量残り5分				
				10 Min.	バッテリ容量残り10分				
	BATT TST Length	バッテリテスト 時間	バッテリテストの実行時間を設定。	2 Min	2分間実行	※		3.13	20
				5 Min.,	5分間実行				
				10 Min.	10分間実行				
				20 Min.	20分間実行				
	BATT TST Period	バッテリテスト 周期	自動的に実施されるバッテリ テストの期間(日数)を設定。	180 days	180日で自動テスト	※		3.14	21
				90 days	90日で自動テスト				
				30 days	30日で自動テスト				
				None	自動テストしない				

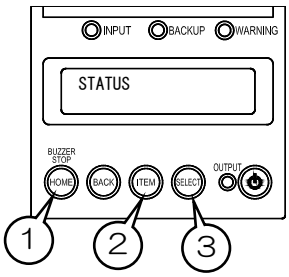
設定グループ	設定項目			設定値		初期設定	現在の設定	参照項目	参照ページ
	表示	内容		表示	内容				
SET FUNCTION 機能設定	RUN TIM @PF	停電時運転時間	停電発生時、UPSがバックアップを開始してから出力を停止するまでの時間を設定。	BATT END	放電終止まで	※		3.15	22
				10 Sec.	10秒後に出力停止				
				30 Sec.	30秒後に出力停止				
				1 Min.	1分後に出力停止				
				3 Min.	3分後に出力停止				
				5 Min.	5分後に出力停止				
				10 Min.	10分後に出力停止				
	RING Output	RING動作	UPS起動時にRING信号を出力する/しないを設定。	Output	出力する			3.16	23
				None	出力しない	※			
	Out Vol Adj.	出力電圧調整	3.1項で設定した定格電圧に対する調整値を設定。 １段階で約１Vの調整。	-3	3段階マイナス			3.17	24
				-2	2段階マイナス				
				-1	1段階マイナス				
				0	調整しない	※			
				+1	1段階プラス				
				+2	2段階プラス				
				+3	3段階プラス				
SET SYSTEM システム設定	DATE/TIME	月日／時刻	UPSの時刻を設定。	DATE YY/MM/DD TIME HH:MM:SS	月日 年/月/日 時刻 時/分/秒			3.18	25
	ChA Total Unit#	ChA システム並列 接続台数設定	UPSシステムを構成するUPSユニットの接続台数を設定。	1 *3	ユニット１台	*2		3.19	26
				2	ユニット2台接続				
				3	ユニット3台接続				
				4	ユニット4台接続				
				5	ユニット5台接続				
				6	ユニット6台接続				
				7	ユニット7台接続				
				8	ユニット８台接続				
	ChB Total Unit#	ChB システム並列 接続台数設定	設定変更しないでください。	1	設定変更しないでください。	※		3.19	26
				2					
				3					
				4					
				5					
				6					
				7					
				8					
	Redundancy	UPSの運転システム	冗長運転/単機・並列運転の設定。	N+1	冗長運転			3.20	27
				None	単機、並列運転	※			
	INPUT Phases	入力相数 ★	UPSの入力相数を設定。	Single	単相２線	※		3.21	28
				3Ph/4W *1	三相４線				
SET DEFAULT 設定値 初期化	SET DEFAULT	工場出荷時の状態にリセット。		―	―	―		3.22	29

ご注意

- 「*1」の設定値には設定しないでください。
- 「*2」の初期設定はＵＰＳ型番により異なります。「SET DEFAULT」で設定値をリセットした場合は、初期設定ではなく、「*3」の設定値になります。
- 設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にＵＰＳを再起動しないと設定値が有効になりません。
  設定変更をした場合は「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。
  ＵＰＳの運転操作の詳細はＵＰＳ本体の取扱説明書をご覧ください。ＵＰＳを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。

§3.1　電圧を設定する

ＵＰＳの電圧を設定します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

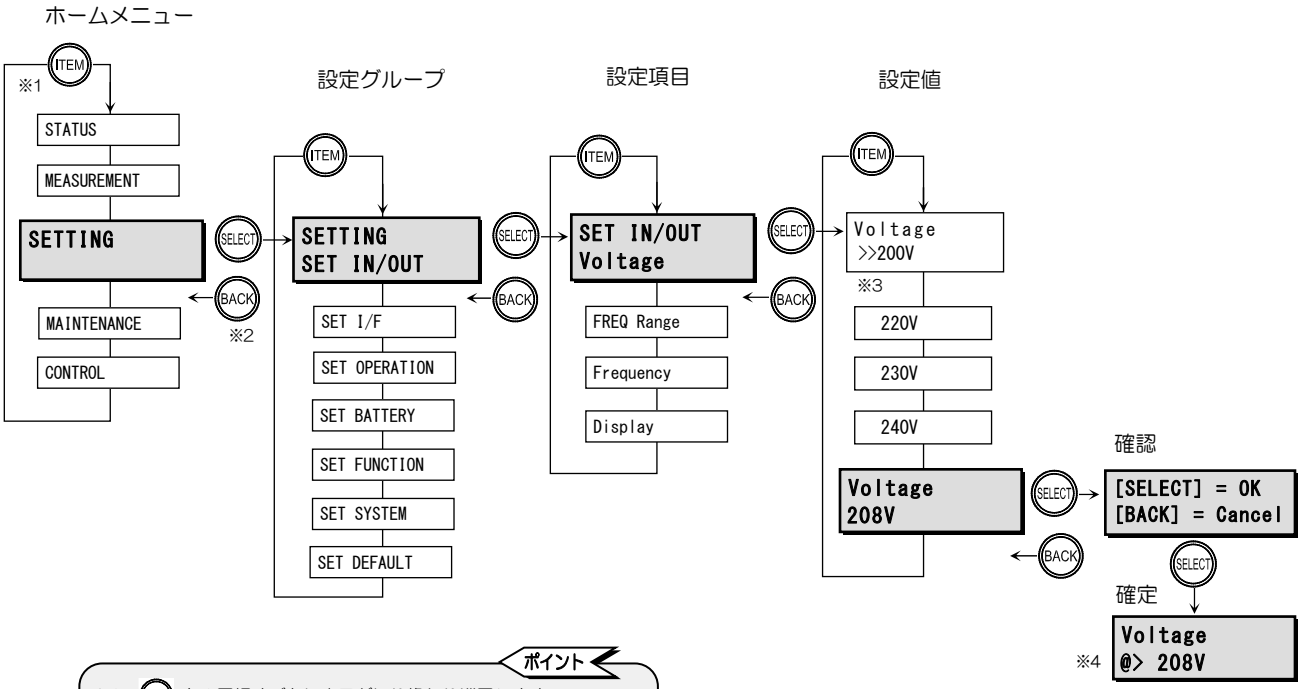
② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：出力電圧を「208V」に設定変更する場合



ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更が確定した設定値は、「@>」記号で表示されます。
ＵＰＳの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	200V	ＵＰＳの出力電圧を設定します。 入力電圧と出力電圧は同一です。 入力電圧を確認し、同じ電圧を選択してください。
	220V	
	230V	
	240V	
	208V	

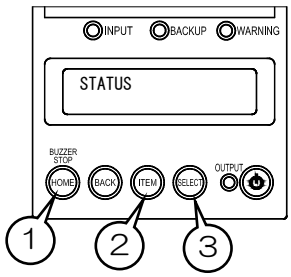
⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

ご注意

- 設定を変更した後は、「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- ＵＰＳ状態表示に「Req. to restart」が表示されているときは・・
設定変更後にＵＰＳが再起動されていない状態です。
「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。

§3.2　周波数同期追従範囲を設定する

出力周波数が入力周波数に同期する追従範囲を設定します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

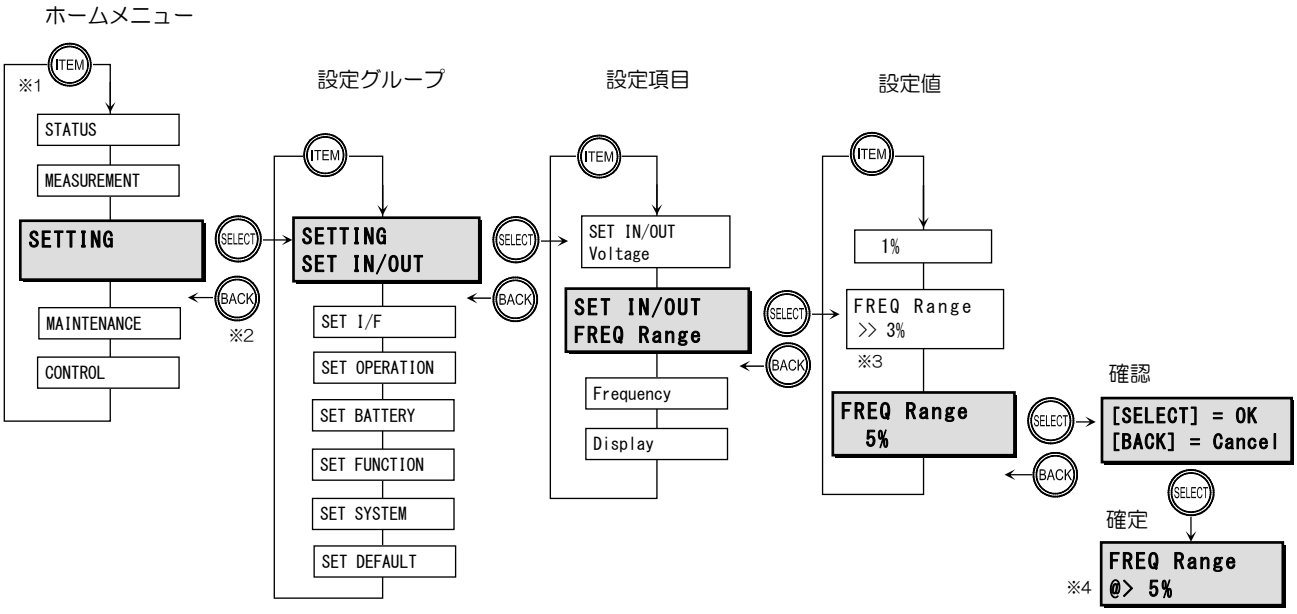
② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：周波数同期追従範囲を「5%」に設定変更する場合



ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示される
まで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更が確定した設定値は、「@>」記号で表示されます。
ＵＰＳの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
	１％	入力周波数の±１％
初期設定	３％	入力周波数の±３％
	５％	入力周波数の±５％

- 数値が小さいほど出力周波数の精度がよくなりますが、入力周波数が不安定な場合は非同期運転に切り換わりやすくなります。
エンジン発電機の出力に接続する場合などは「5%」を選択してください。
非同期運転時にバイパス運転に切り換わる場合は、瞬断切換となります。
- 「§3.3 周波数を設定する」で「50Hz」、「60Hz」または「Auto」のいずれに設定した場合も、インバータは入力周波数が設定した値（±1%，±3%，±5%）の範囲内にないと起動しません。

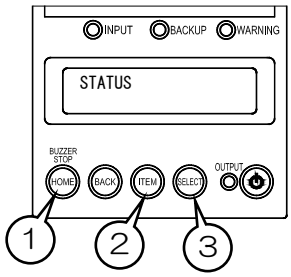
⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

ご注意

- 設定を変更した後は、「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- ＵＰＳ状態表示に「Req. to restart」が表示されているときは・・
設定変更後にＵＰＳが再起動されていない状態です。
「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。

§3.3　周波数を設定する

出力周波数は出荷時に「Auto」に設定されています。特殊な電源環境で使用する場合以外は、設定を変更しないでください。
誤って設定を変更してしまった場合は下記の手順で「Auto」に設定してください。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

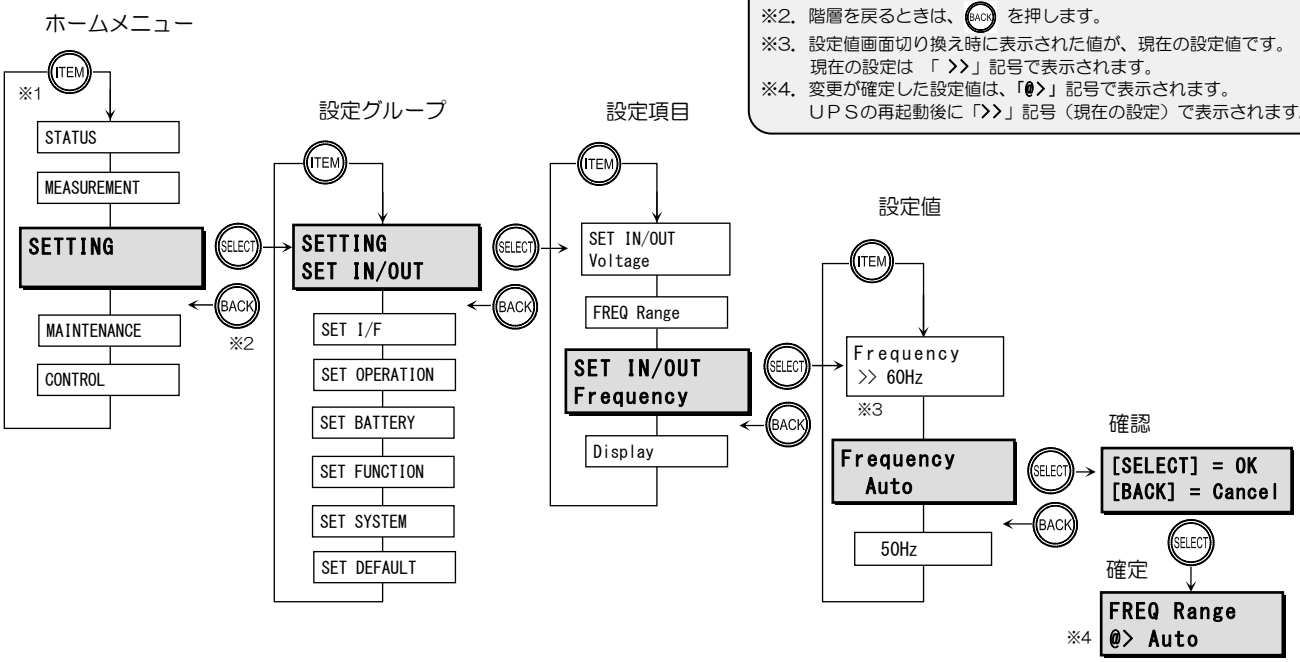
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更が確定した設定値は、「@>」記号で表示されます。
ＵＰＳの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

例：周波数を「Auto」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細		
初期設定	Auto	入力周波数に合わせて自動的に設定されます。	「Auto」に設定した場合「§3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で設定した追従範囲を超えると非同期運転になります。設定された周波数の±8%を超えるとバッテリ運転に切り換わります。	
	50Hz	出力周波数を 50Hz に設定。	「50Hz」または「60Hz」に設定した場合は、入力周波数とは同期せず、設定した周波数が出力されます。この場合の入力周波数許容範囲は 40Hz～120Hz です。この範囲を超えると、バッテリ運転に切り換わります。 ＵＰＳ起動時、およびバッテリ運転からの復帰時は、「Auto」に設定した場合と同じ動作になります。	「50Hz」または「60Hz」に設定する場合は、当社までご相談ください。
	60Hz	出力周波数を 60Hz に設定。		

- 「§3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で、周波数同期範囲を±1%,±3%,±5%から選択することができます。
「50Hz」、「60Hz」または「Auto」のいずれに設定した場合も、インバータは入力周波数が周波数同期追従範囲で設定した値（±1%，±3%，±5%）の範囲内にないと起動しません。
- 「50Hz」または「60Hz」に設定した場合、「§4.1 バッテリテストをする」の操作はできません。また、「§3.14 バッテリテストのスケジュールを設定する」で定期的に自動でバッテリテストが実施されるように設定しても、実施されません。
- 「50Hz」または「60Hz」に設定した場合、手動切換または過負荷などによりバイパス運転に切り換わるときは瞬断切り換えとなります。

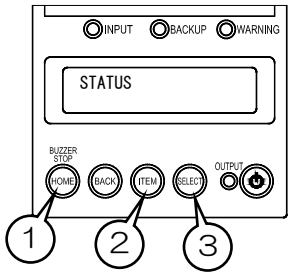
⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

ご注意

- 設定を変更した後は、「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- ＵＰＳ状態表示に「Req. to restart」が表示されているときは・・
設定変更後にＵＰＳが再起動されていない状態です。「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。

§3.4　計測情報に表示される電圧値を設定する

計測情報で表示される入出力電圧の値を設定します。
お客様で集電ユニットを接続した場合に、集電ユニットの仕様に合わせて設定値を変更してください。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

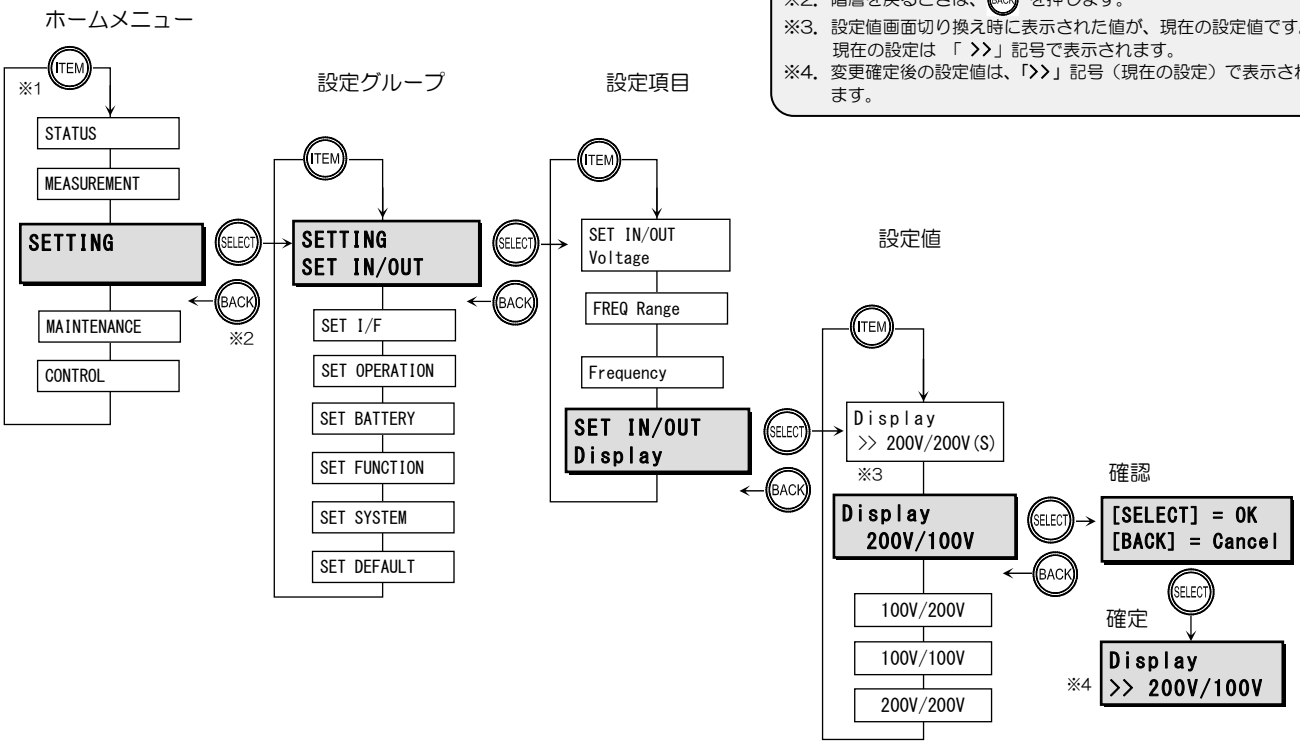
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：表示電圧を「200V/100V」に設定する場合

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

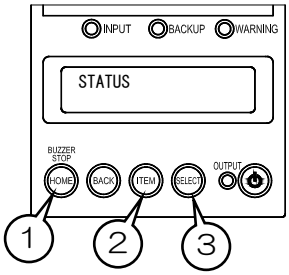
	設定値	詳細	
初期設定	200V/200V(S)	定格入力電圧 200V 系、出力電圧 200V 系の場合	電圧が 200V, 220V, 230V, 240V, 208V のいずれに設定されている場合も、この設定値になります。設定を変更しないでください。
	200V/100V	定格入力電圧 200V、出力電圧 100V の場合	この設定値には設定しないでください。
	100V/200V	定格入力電圧 100V、出力電圧 200V の場合	
	100V/100V	定格入力電圧 100V、出力電圧 100V の場合	
	200V/200V	定格入力電圧 200V、出力電圧 200V の場合	

ＵＰＳ計測情報表示などでＬＣＤ画面に表示される電圧、電流値の設定です。電圧値の設定を変更すると電流も変更されます。
設定値とＵＰＳの定格電圧が異なると、計測情報が正しく表示されません。
「§3.22 設定値をリセットする」の操作をした場合、設定値は「200V/200V(S)」になります。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.5　インタフェースを設定する

ＰＣインタフェースコネクタを使用する場合のインタフェースの方法を設定します。
ＰＣインタフェースコネクタの詳細は、ＵＰＳ本体の取扱説明書「§5.4 外部インタフェース」をご覧ください。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

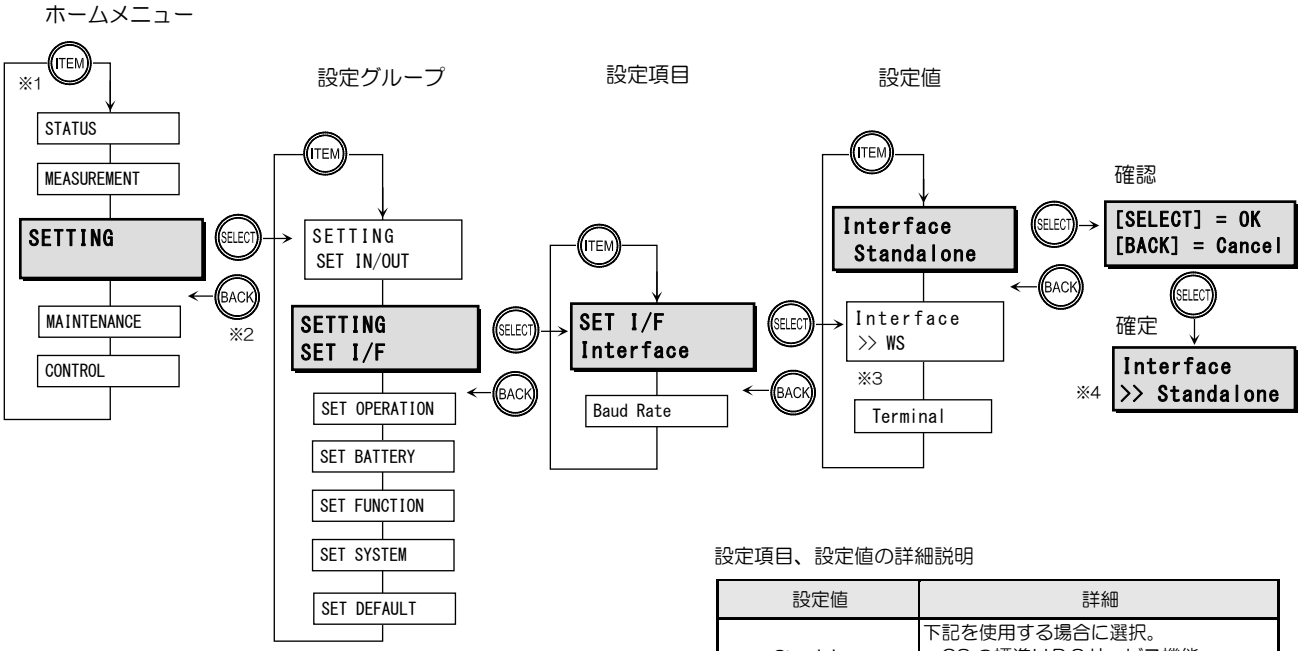
② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：インタフェースを 「Standalone」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
Standalone スタンドアロン	下記を使用する場合に選択。 ・OS の標準ＵＰＳサービス機能 ・リモートスイッチによるＵＰＳの リモート ON/OFF 機能
初期設定 WS ワークステーション	下記を使用する場合に選択。 ・電源管理ソフトウェア ・ＬＡＮインタフェースカード ・リモートスイッチによるコンピュータ のワンタッチシャットダウン機能
Terminal ターミナル	この設定値には設定しないでください。

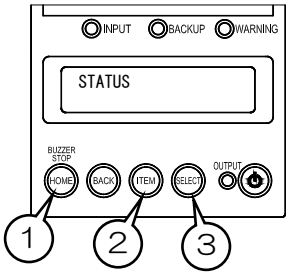
ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.6　通信ボーレートを設定する

ワークステーション、パーソナルコンピュータ、ＬＡＮインタフェースカードを接続する場合の通信ボーレートを設定します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

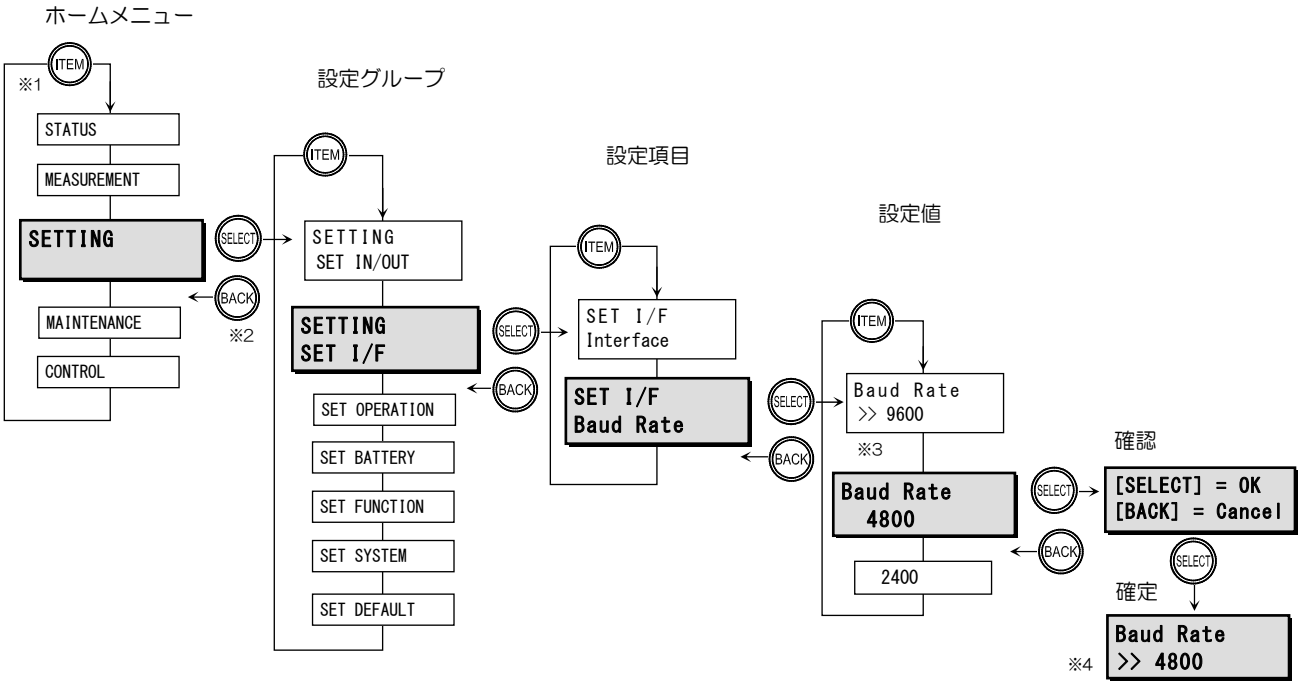
② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：通信ボーレートを 「4800」に設定する場合



ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

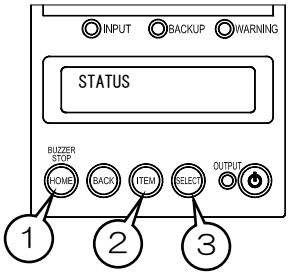
	設定値	詳細
初期設定	9600	通信ボーレート 9600 bps
	4800	通信ボーレート 4800 bps
	2400	通信ボーレート 2400 bps

LAN インタフェースカードを使用する場合は「9600bps」に設定してください。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.7　復電時の動作を設定する

停電発生時､バッテリ放電終止により、ＵＰＳが停止した後､商用電源が復電した場合のＵＰＳの動作を設定します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

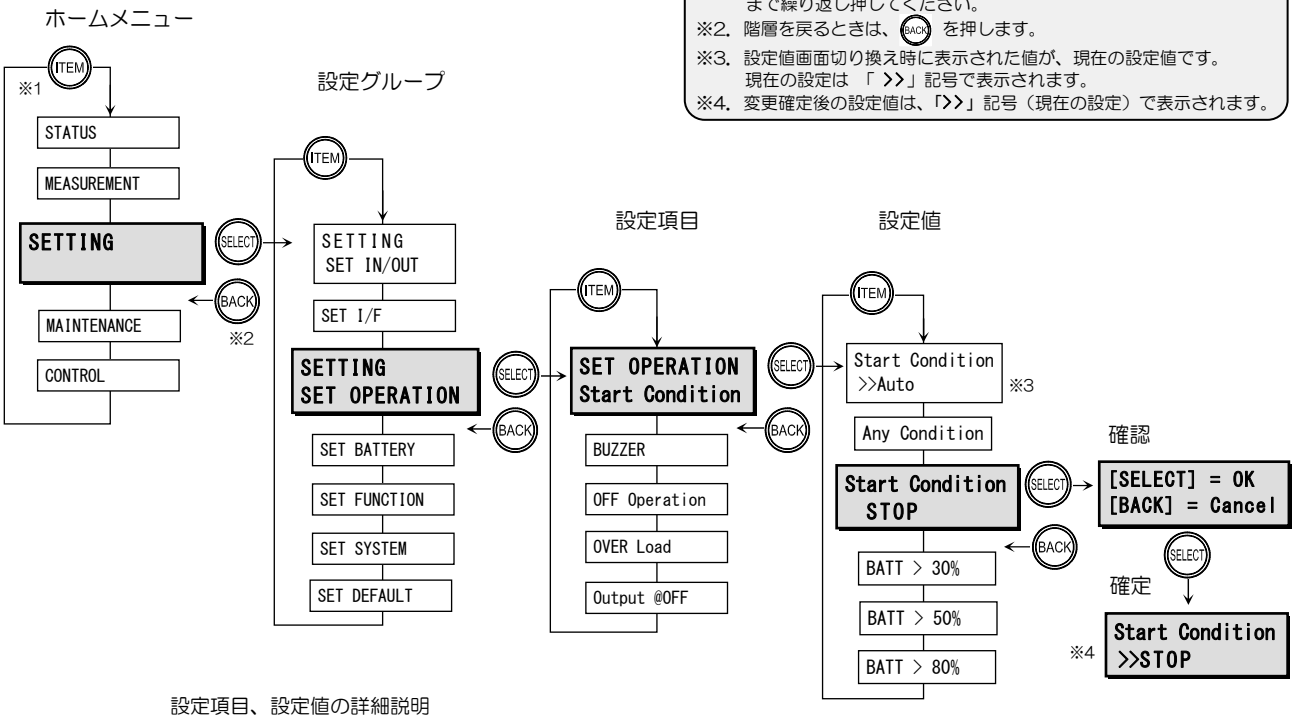
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示される
まで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

例：復電時の動作を「STOP」（停止）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

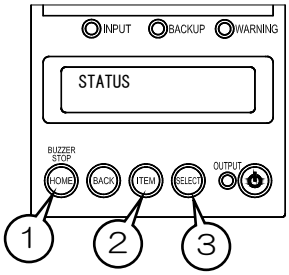
設定値		詳細
初期設定 Auto	自動	商用電源が復帰した場合、ＵＰＳは自動的に起動します。
Any Condition	常に起動	停電後の復電、初起動時の入力電源受電などの条件にかかわらず、 入力電源を受電するとＵＰＳは自動的に起動します。
STOP	停止	商用電源が復帰しても、ＵＰＳは停止したままです。 ただし、「§3.11」で「BYPASS」が選択されている場合は、バイパス給電となります
BATT > 30%	30%以上	商用電源が復帰した場合、バッテリが 30%以上に充電されると、自動的にＵＰＳが起動します。
BATT > 50%	50%以上	商用電源が復帰した場合、バッテリが 50%以上に充電されると、自動的にＵＰＳが起動します。
BATT > 80%	80%以上	商用電源が復帰した場合、バッテリが 80%以上に充電されると、自動的にＵＰＳが起動します。

電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した充電率でＵＰＳが起動します。上記の操作で設定しても設定値は有効になりません。
この場合、上記の操作で設定値を表示させると Start Condition BATT > 5%(Val) のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。
この設定値は ITEM を押すと表示されなくなりますが、いったん BACK で戻り SELECT を押すと再度、表示されます。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.8　ブザー音が鳴る条件を設定する

ブザー音が鳴る条件を設定します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

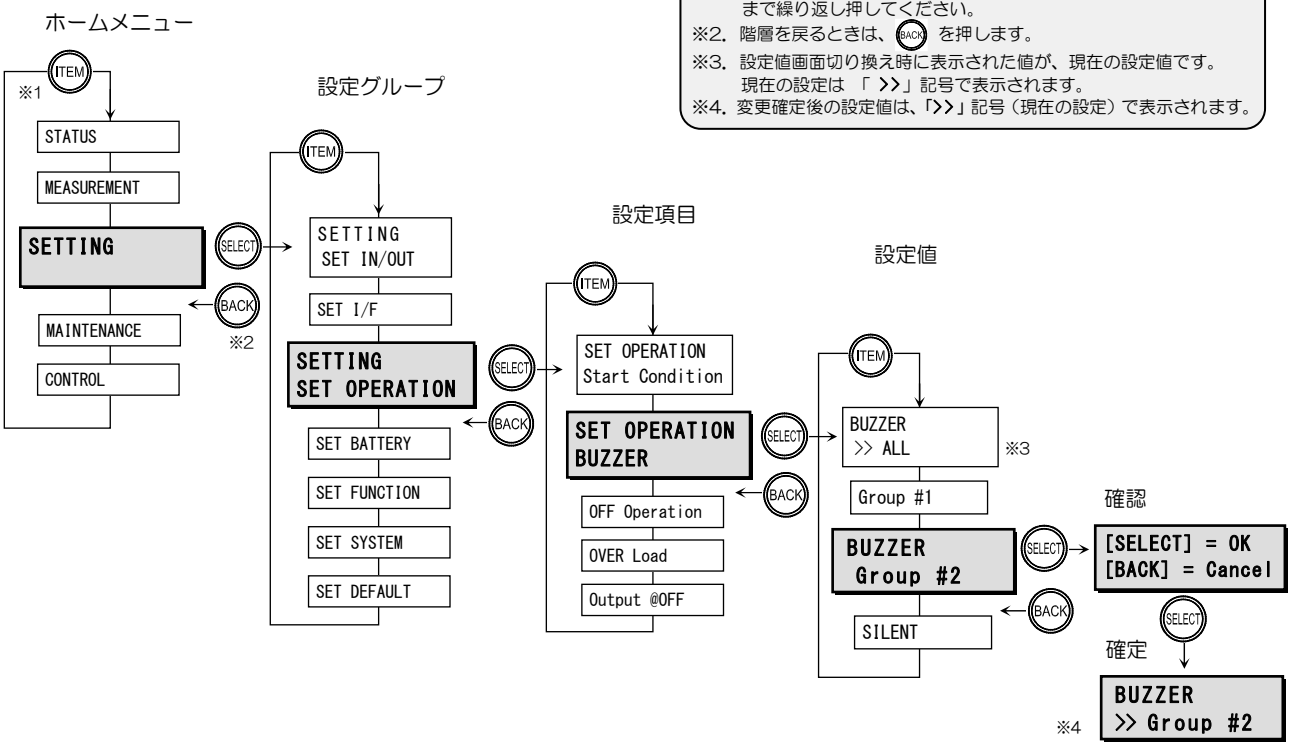
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：ブザーが鳴る条件を「Group #2」に設定する場合

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示される
まで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



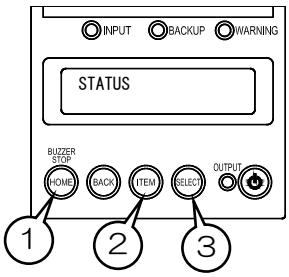
設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
初期設定 ALL	すべての状態	キークリック音、バッテリ運転中、バッテリテスト中、バッテリ電圧異常時、バッテリ電圧低下時、過負荷時（バイパス運転中）、バッテリ余命警告、バッテリ寿命、重故障発生時、軽故障発生時、放電終止発生中、電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時にブザーが鳴ります。
Group #1	グループ１	キークリック音、バッテリ電圧低下時、バッテリ余命警告、バッテリ寿命、重故障発生時、軽故障発生時、放電終止発生中、電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時にブザーが鳴ります。
Group #2	グループ２	キークリック音、重故障発生時、電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時にブザーが鳴ります。
SILENT	停止	キークリック音のみ鳴ります。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.9　ＵＰＳ本体操作パネル ⏻ のＯＦＦ操作を設定する

ＵＰＳの本体操作パネルの ⏻ ボタンを押してＵＰＳをＯＦＦにする場合の操作方法を設定します。この設定は、不用意な接触、または誤操作によりＵＰＳを停止してしまうことを防止するための機能です。
本体操作パネルの ⏻ ボタンの「ＯＦＦ操作」にのみ有効で「ＯＮ操作」は変更されません。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

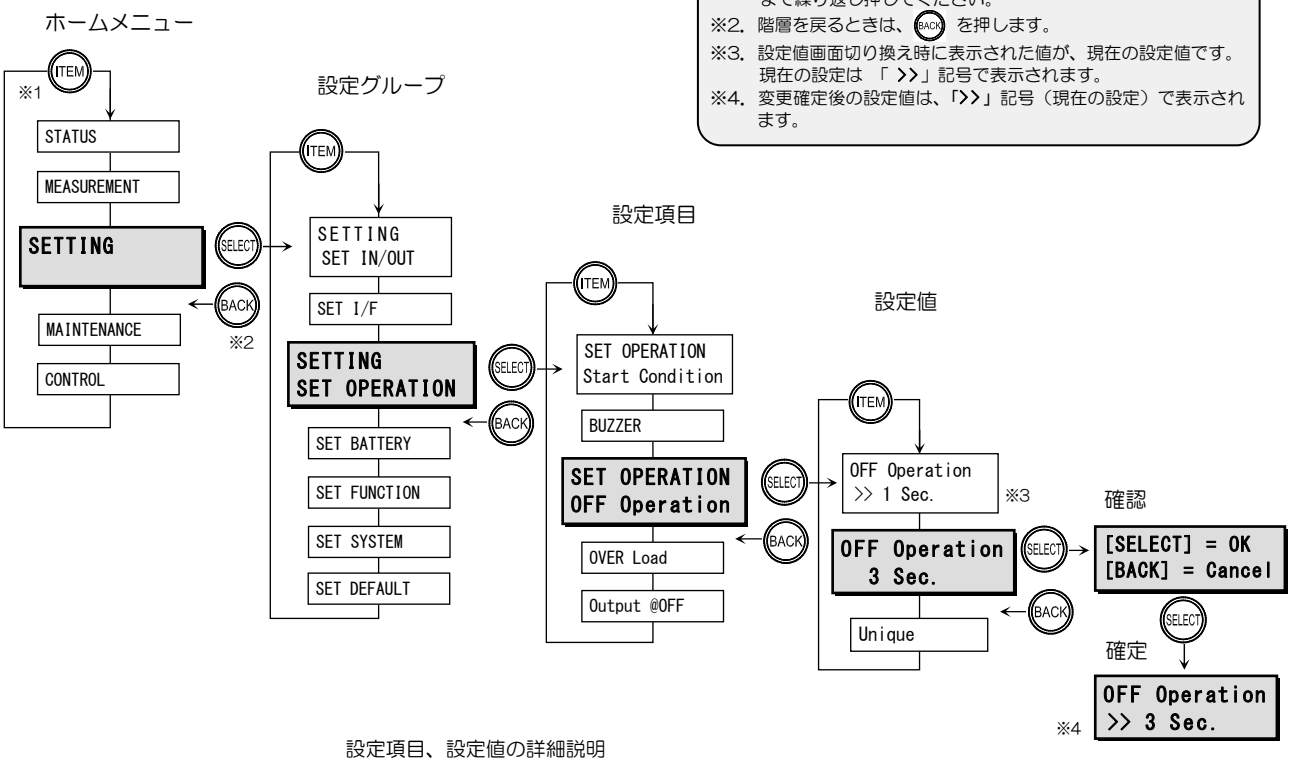
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：ＯＦＦ操作を「3 Sec」（３秒）に設定する場合

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



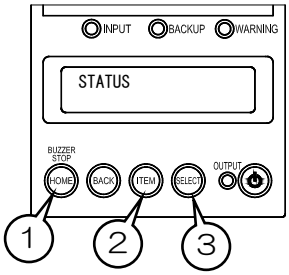
設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
初期設定 1 Sec.	１ 秒	⏻ ボタンを１秒間押してＯＦＦ。
3 Sec.	３ 秒	⏻ ボタンを３秒間押してＯＦＦ。
Unique	特殊操作	⏻ ボタンを３秒間押しブザーが鳴ったら放します。 ブザーが鳴っている間に、⏻ ボタンを３秒間押します。 以上の手順でＯＦＦ。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.10　過負荷時の動作を設定する

過負荷によりバイパス給電へ切り換わった後にＵＰＳ給電に戻るための条件を設定します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

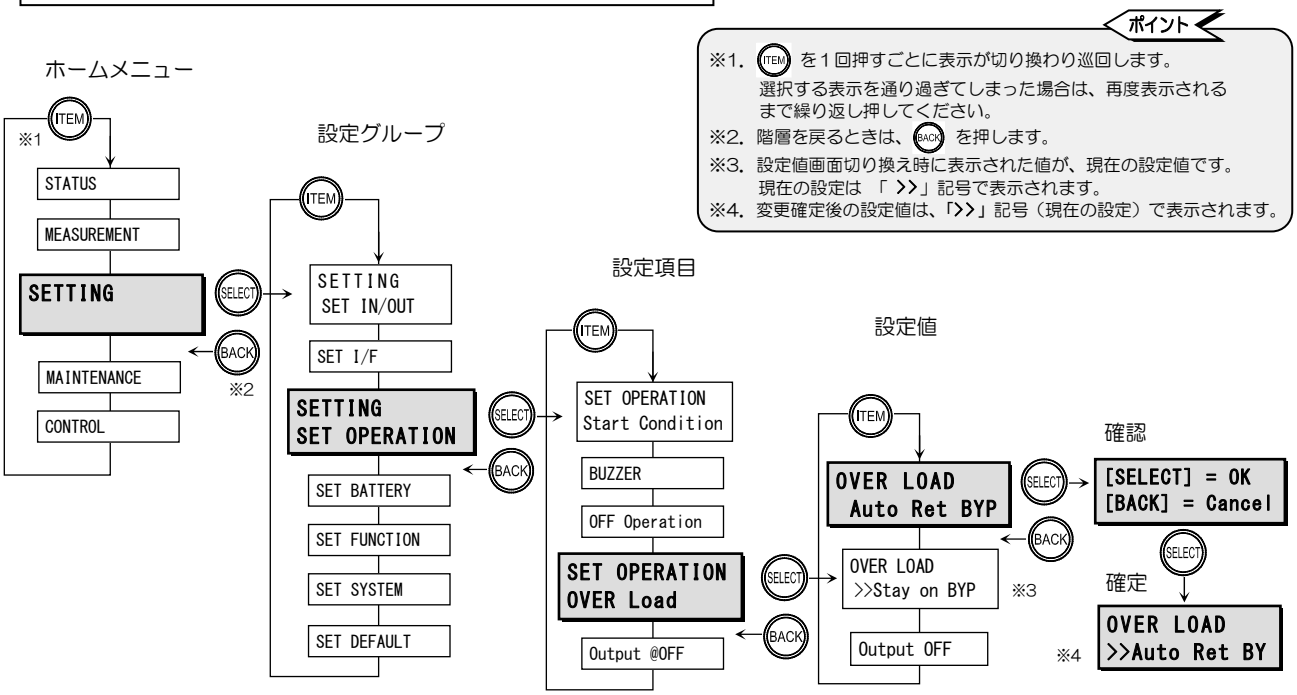
② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：過負荷時の動作を「Auto Ret BYP」（自動復帰）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

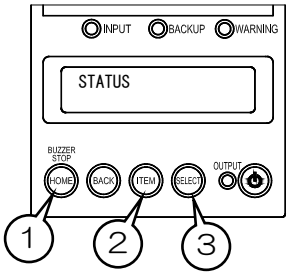
設定値		詳細
Auto Ret BYP	自動復帰	過負荷によりバイパス給電に切り換わった後、一定時間で自動的にＵＰＳ給電へ切り換わります。過負荷状態が継続している場合は、再度バイパス給電へ切り換わり、この動作が繰り返されます。
初期設定 Stay on BYP	バイパス給電	過負荷状態が継続している場合は、バイパス給電が継続されます。 過負荷状態が解消されるとＵＰＳ給電に切り換わります。 バイパス給電に切り換わったときの商用電源の電圧値により、ＵＰＳ給電とバイパス給電の切り換えが繰り返されることがあります。
Output OFF	出力停止	この設定値には設定しないでください。

- 「Auto Ret BYP」または「Stay on BYP」のどちら設定した場合も、ＵＰＳが非同期運転中（入力周波数が「§3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で設定した値（±1%，±3%，±5%）の範囲外の場合）はバイパス給電からＵＰＳ給電に切り換わりません。
- 「§3.3 周波数を設定する」で設定値を「Auto」に設定した場合の非同期運転中、および「50Hz」または「60Hz」に設定した場合、バイパス給電への切り換えは、瞬断切り換えとなります。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.11 ⏻ ＯＦＦ時のＵＰＳ給電状態を設定する

ＵＰＳ本体の取扱説明書「ＵＰＳを停止する」の手順で ⏻ ボタンの OFF 操作によりＵＰＳを停止した場合の（ MAIN MCCB はON）ＵＰＳの給電状態を設定します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

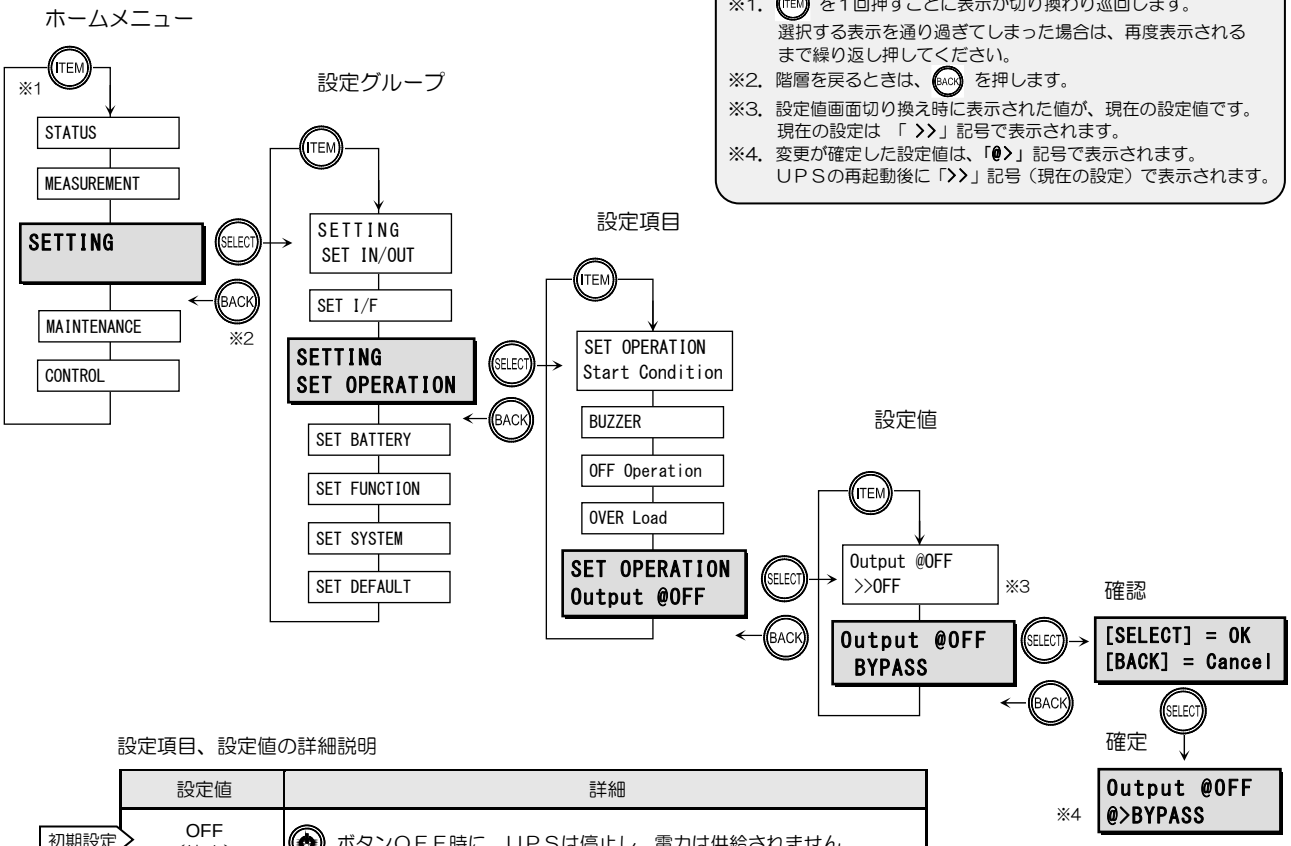
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：ＯＦＦ時の給電状態を「BYPASS」（バイパス給電）に設定する場合

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更が確定した設定値は、「@>」記号で表示されます。
ＵＰＳの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 OFF（停止）	⏻ ボタンＯＦＦ時に、ＵＰＳは停止し、電力は供給されません。
BYPASS（バイパス給電）	⏻ ボタンＯＦＦ時に、バイパス給電へ切り換わり給電が継続します。

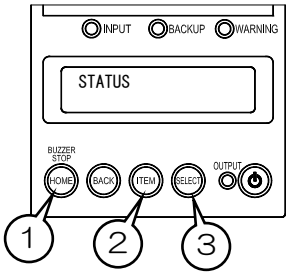
⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

ご注意

- 設定を変更した後は、「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。
ただし、現在の設定が「BYPASS」の場合は、ＵＰＳの MAIN MCCB を「OFF」にしてもＵＰＳは停止しないため、ＵＰＳ入力側の分電盤ブレーカを遮断してＵＰＳを停止し、再起動してください。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- ＵＰＳ状態表示に「Req. to restart」が表示されているときは・・
設定変更後にＵＰＳが再起動されていない状態です。「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。

§3.12　バッテリ電圧低下警告発生のタイミングを設定する

バッテリ電圧低下警告が発生するタイミングを設定します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

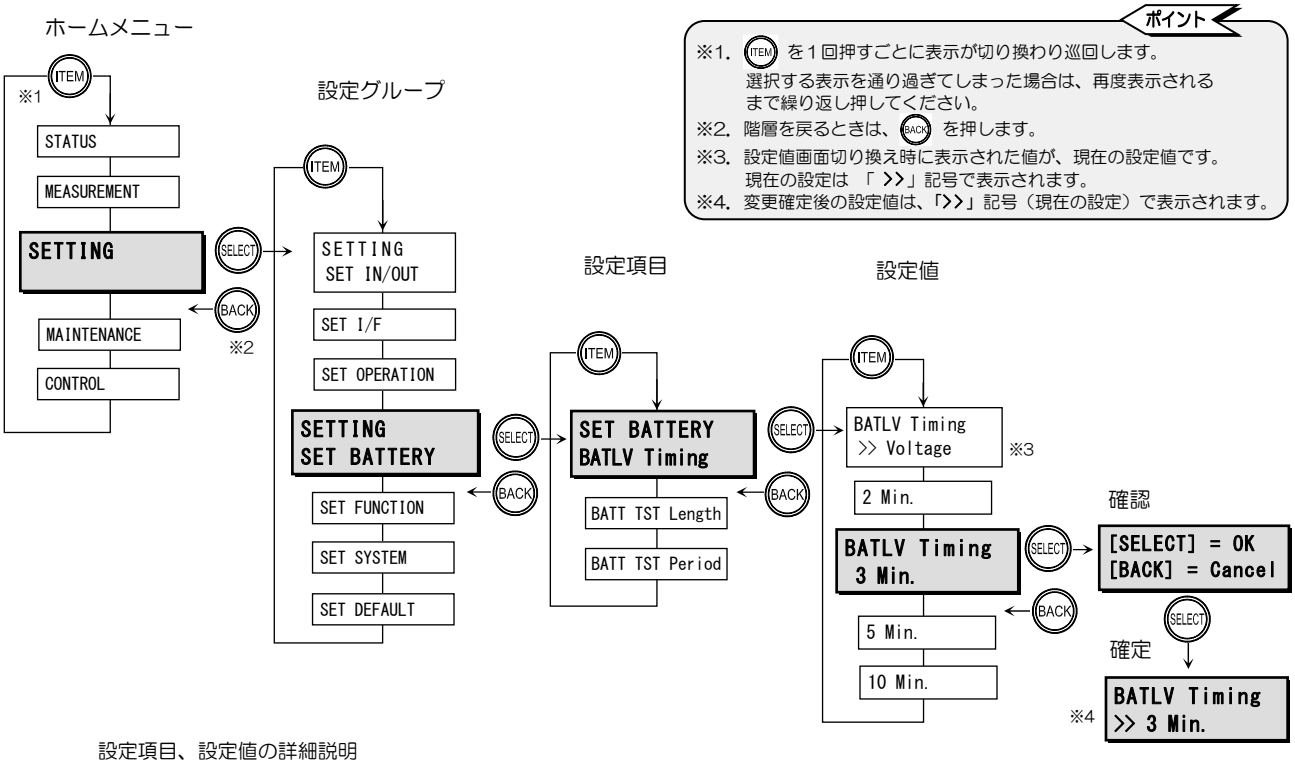
② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：警告発生のタイミングを「3 Min.」（３分）に設定する場合



ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細	
初期設定 Voltage	電圧	バッテリ電圧低下レベルを検出した時点で 警告：LCD 画面「Batt Vol low」表示、ブザー音「ピピピピピ・・」が発生します。	
2 Min.	２分	バッテリの残容量が２分※未満で警告が発生します。	標準バッテリ仕様（５分、10 分バックアップ仕様）以外のＵＰＳを使用している場合、および負荷率が 30%以下の状態の場合は、この設定値には設定しないでください。
3 Min.	３分	バッテリの残容量が３分※未満で警告が発生します。	
5 Min.	５分	バッテリの残容量が５分※未満で警告が発生します。	
10 Min.	10 分	バッテリの残容量が 10 分※未満で警告が発生します。	

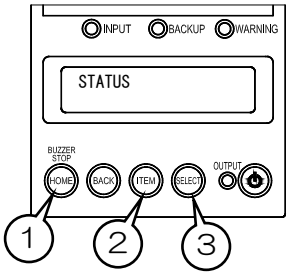
※．時間（分）は目安です。「§８ 計測情報表示について」をご覧ください。

- 「§3.8 ブザー音が鳴る条件を設定する」で設定値「SILENT」または「Group #2」に設定されている場合は、ブザーは鳴りません。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した UPS シャットダウン実行のタイミングで警告が発生します。
  この場合、上記の操作で設定値を表示させると BATLV Timing 4 Min. (Val) のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。
  この設定値は ITEM を押すと表示されなくなりますが、いったん BACK で戻り SELECT を押すと再度、表示されます。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.13　バッテリテストの実行時間を設定する

定期的、または手動で実施するバッテリテストの実行時間を設定します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

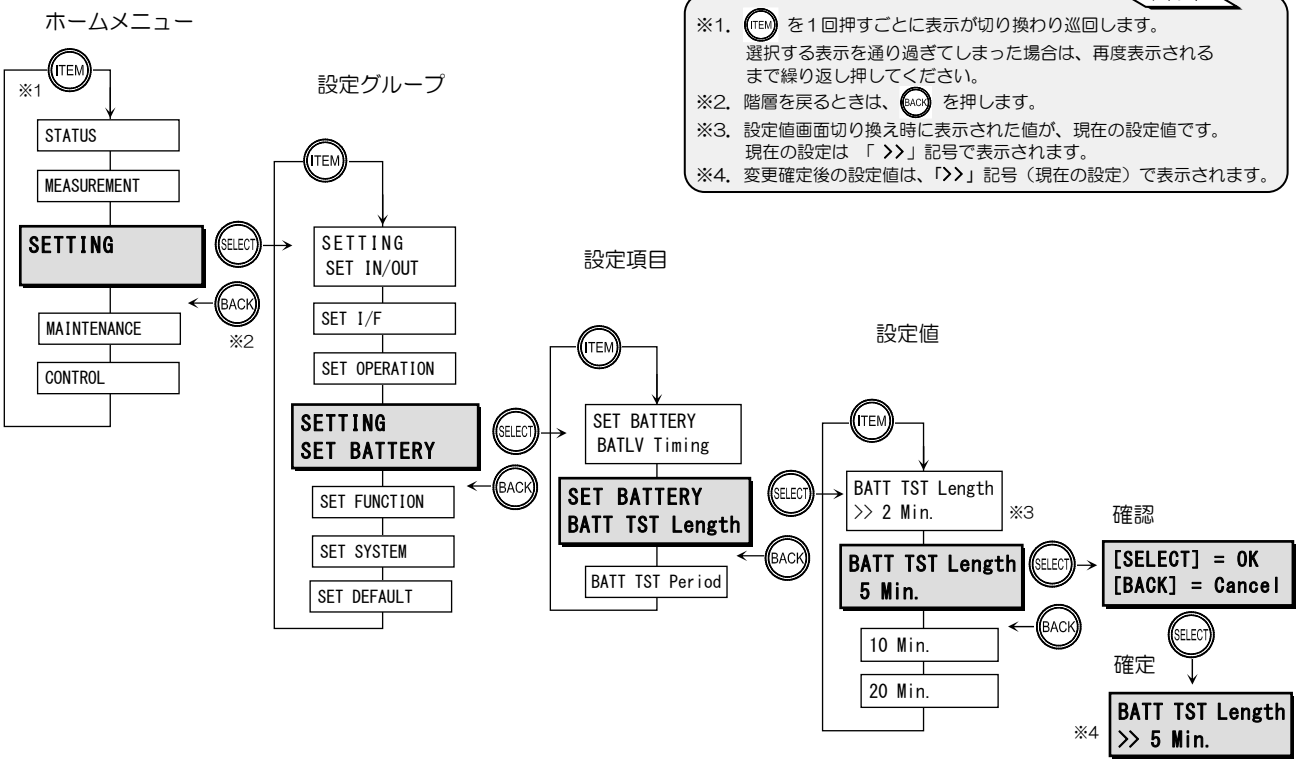
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：バッテリテスト時間を「5 Min.」（5 分）に設定する場合

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示される
まで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

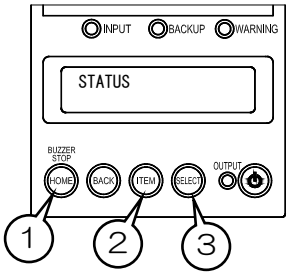
	設定値		詳細
初期設定	2 Min.	２分	バッテリテストが２分間 実行されます。
	5 Min.	５分	バッテリテストが５分間 実行されます。
	10 Min.	10 分	バッテリテストが 10 分間 実行されます。
	20 Min.	20 分	バッテリテストが 20 分間 実行されます。

ＵＰＳに接続している負荷容量とバッテリ容量に応じてバッテリテスト実行時間を設定してください。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.14　バッテリテストのスケジュールを設定する

自動的に実施されるバッテリテストの期間（日数）を設定します。設定した期間が経過すると自動的にバッテリテストが実施されます。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

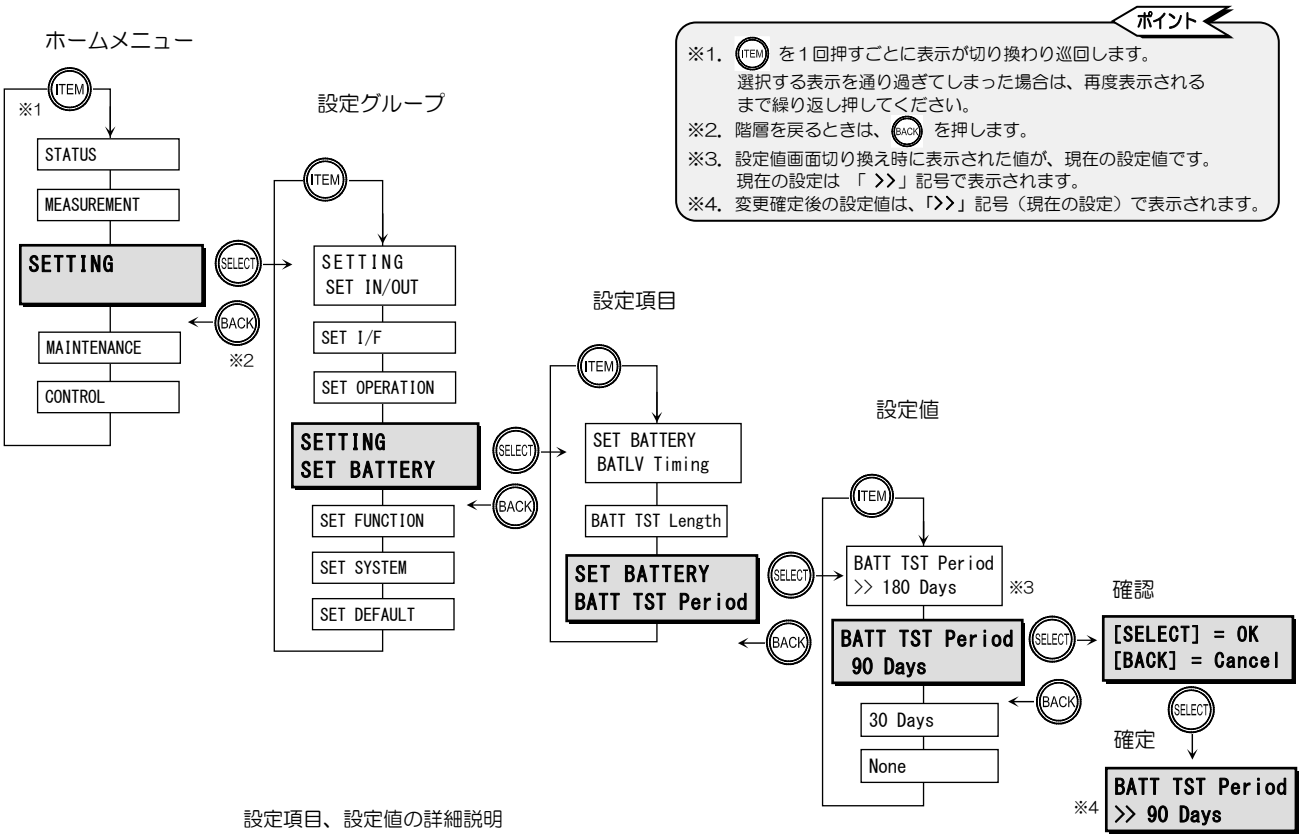
② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：バッテリテストスケジュールを「90 Days」（90 日）に設定する場合



ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。

※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。

※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。

※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	180 Days	180 日	180 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
	90 Days	90 日	90 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
	30 Days	30 日	30 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
	None	しない	バッテリテストは自動的に実施されません。

- この機能を使用する場合は「§3.3 周波数を設定する」で設定値を「Auto」に設定してください。
「50Hz」または「60Hz」に設定されていると、バッテリテストは実施されません。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定したスケジュールでバッテリテストが実施されます。
上記の操作で電源管理ソフトウェアと異なる設定値に設定した場合、いったん設定値は変更されますが、再度、設定値を表示させたときは電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。

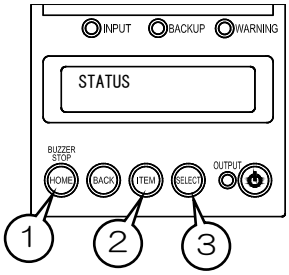
⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.15　停電時のバックアップ時間を設定する

停電発生時に、ＵＰＳがバックアップを開始してから出力供給を停止するまでの時間を設定します。

ご注意

この機能は、「§3.5 インタフェースを設定する」の設定値が「Standalone」に設定されていないと有効になりません。インタフェースの設定値を確認してください。設定値が「WS」に設定されている場合は、「Standalone」に変更してください。工場出荷時は「WS」に設定されています。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

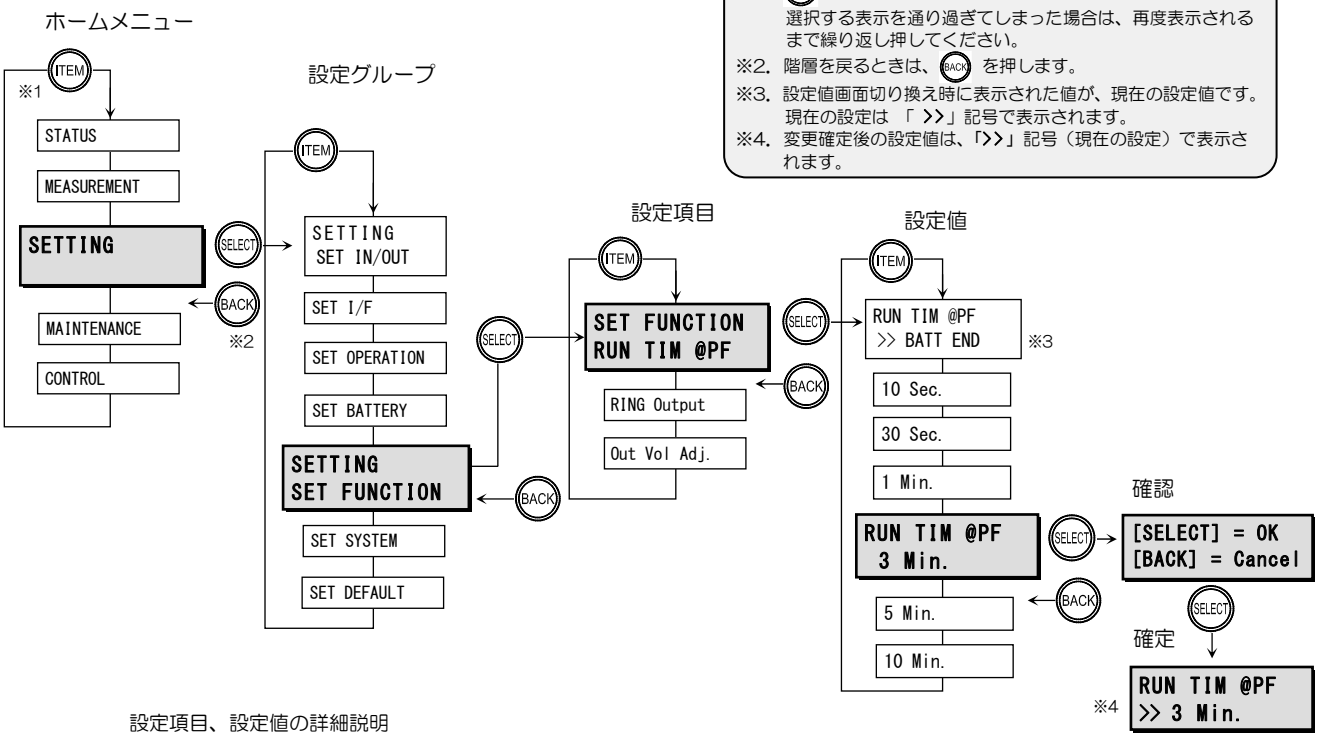
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：停電時バックアップ時間を「3 Min.」（３分）に設定する場合

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
初期設定 BATT END	バッテリ放電終止	バッテリ放電終止まで出力供給が継続されます。 バッテリ容量を最大限に使用する場合に選択します。
10 Sec.	10 秒	10 秒間バックアップした後、出力供給が停止します。
30 Sec.	30 秒	30 秒間バックアップした後、出力供給が停止します。
1 Min.	１分	１分間バックアップした後、出力供給が停止します。
3 Min.	３分	３分間バックアップした後、出力供給が停止します。
5 Min.	５分	５分間バックアップした後、出力供給が停止します。
10 Min.	10 分	10 分間バックアップした後、出力供給が停止します。

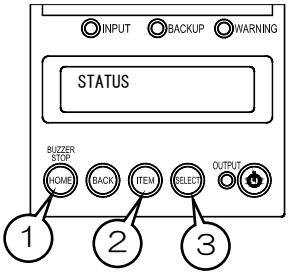
- 設定した時間が経過した時点で出力供給が停止します。設定した時間内に商用電源が復電した場合は、通常運転に戻ります。
この機能を使用する場合は、「§3.5 インタフェースを設定する」で設定値を「Standalone」に設定してください。
「WS」に設定されていると有効になりません。工場出荷時は「WS」に設定されています。
- 設定値を「** Sec.」または「** Min.」に設定しても、バッテリの構成、負荷率、バッテリの充電が不十分、バッテリの劣化、周囲温度などの条件により、指定した時間の出力供給ができないこともあります。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.16　ＲＩＮＧ信号※の設定をする

ＵＰＳ起動時に RING 信号を出力するか、しないかを設定します。

※ RING 信号とは・・
ＵＰＳの起動時に、接続されているコンピュータを自動的に起動させる信号です。
Wake Up on Ring機能に対応したコンピュータとＵＰＳがオプションの通信ケーブルで接続されている場合に有効になります。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

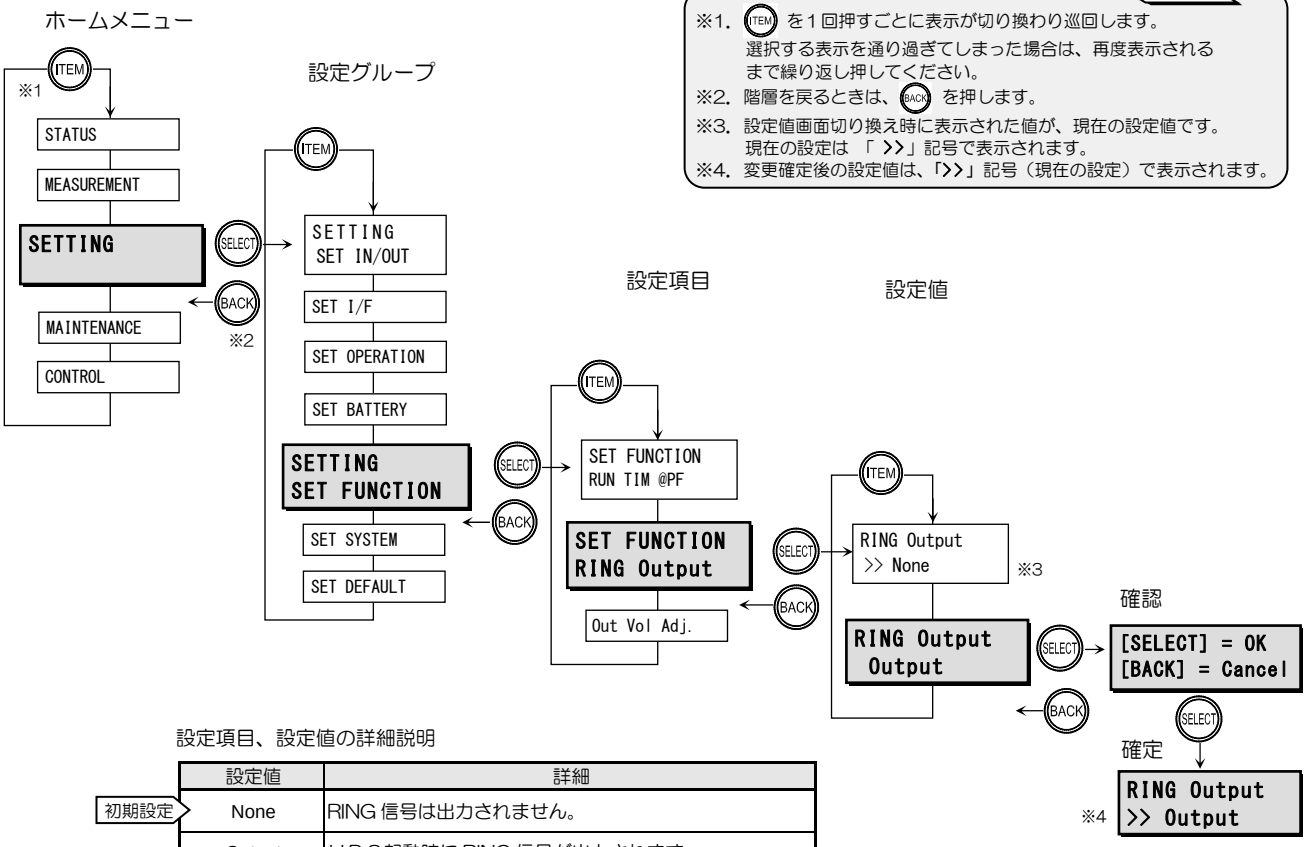
③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：Ring 信号を「Output」（出力する）に設定する場合

ポイント
※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示される
まで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

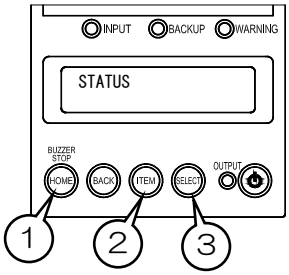
	設定値	詳細
初期設定	None	RING 信号は出力されません。
	Output	ＵＰＳ起動時に RING 信号が出力されます。

「Output」に設定すると、電源が供給されただけでは起動しないコンピュータを
ＵＰＳの起動時に、自動的に起動させることができます。
Wake Up on Ring 機能に対応したコンピュータのみに有効です。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.17　出力電圧の調整値を設定する

「§3.1 電圧を設定する」で設定した出力電圧に対する調整値を設定します。
プラス側に３段階、マイナス側に３段階（約 -3V～+3V）の範囲で調整できます。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

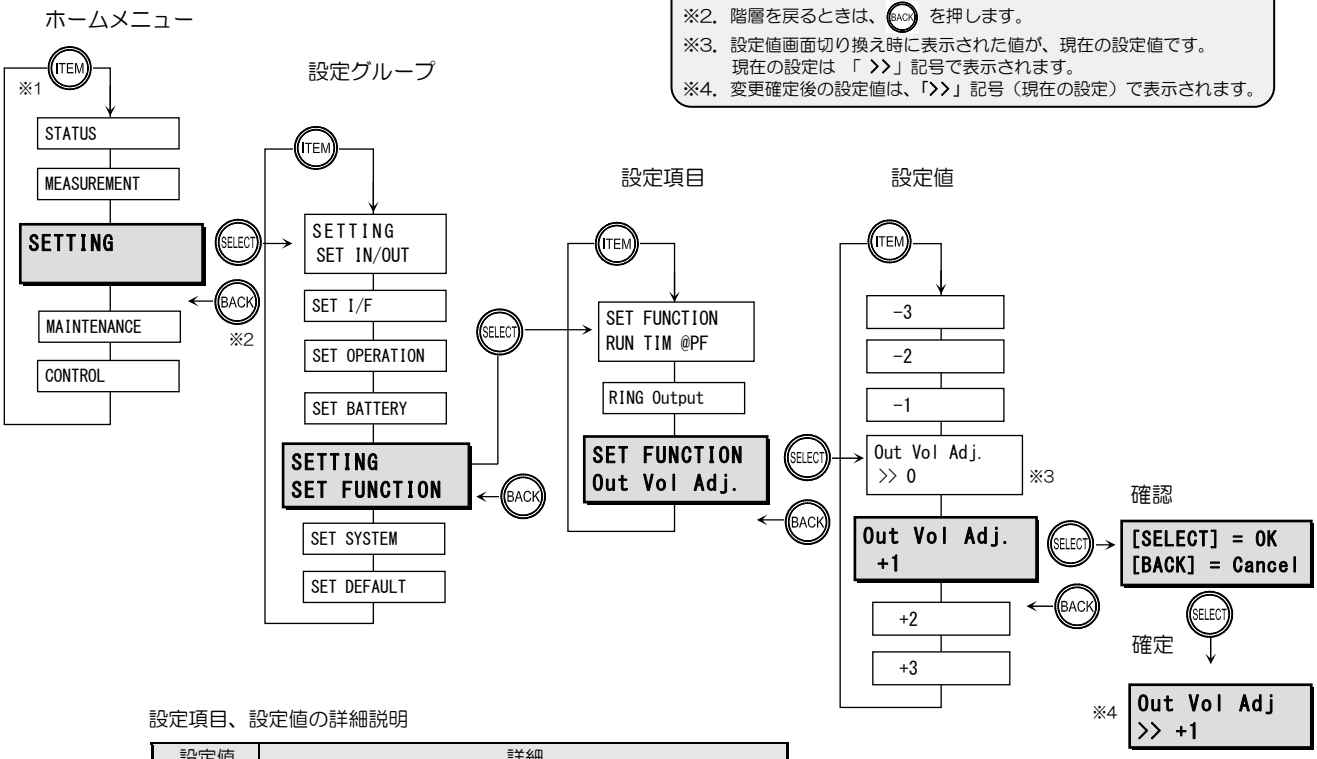
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：調整値を「+１」に設定する場合

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示される
まで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

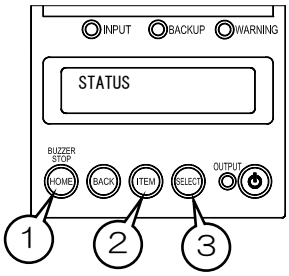
設定値	詳細
-3	マイナス側に約３段階(約３V)低く設定されます。
-2	マイナス側に約２段階(約 2V 低く設定されます。
-1	マイナス側に約１段階(約 1V)低く設定されます。
初期設定　0	設定電圧のまま出力されます。
+1	プラス側に約１段階(約 1V)高く設定されます。
+2	プラス側に約２段階(約 2V)高く設定されます。
+3	プラス側に約３段階(約 3V)高く設定されます。

調整値１段階は約１Ｖです。
上表の調整電圧値は「§3.4 計測情報に表示される電圧値を設定する」で設定値を「200V/200V(S)」に設定した場合の値です。接続している負荷の状態や設置環境に応じて設定してください。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.18　時刻を設定する

ＵＰＳの時刻を設定します。工場出荷時に設定されていますので、通常は変更しないでください。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

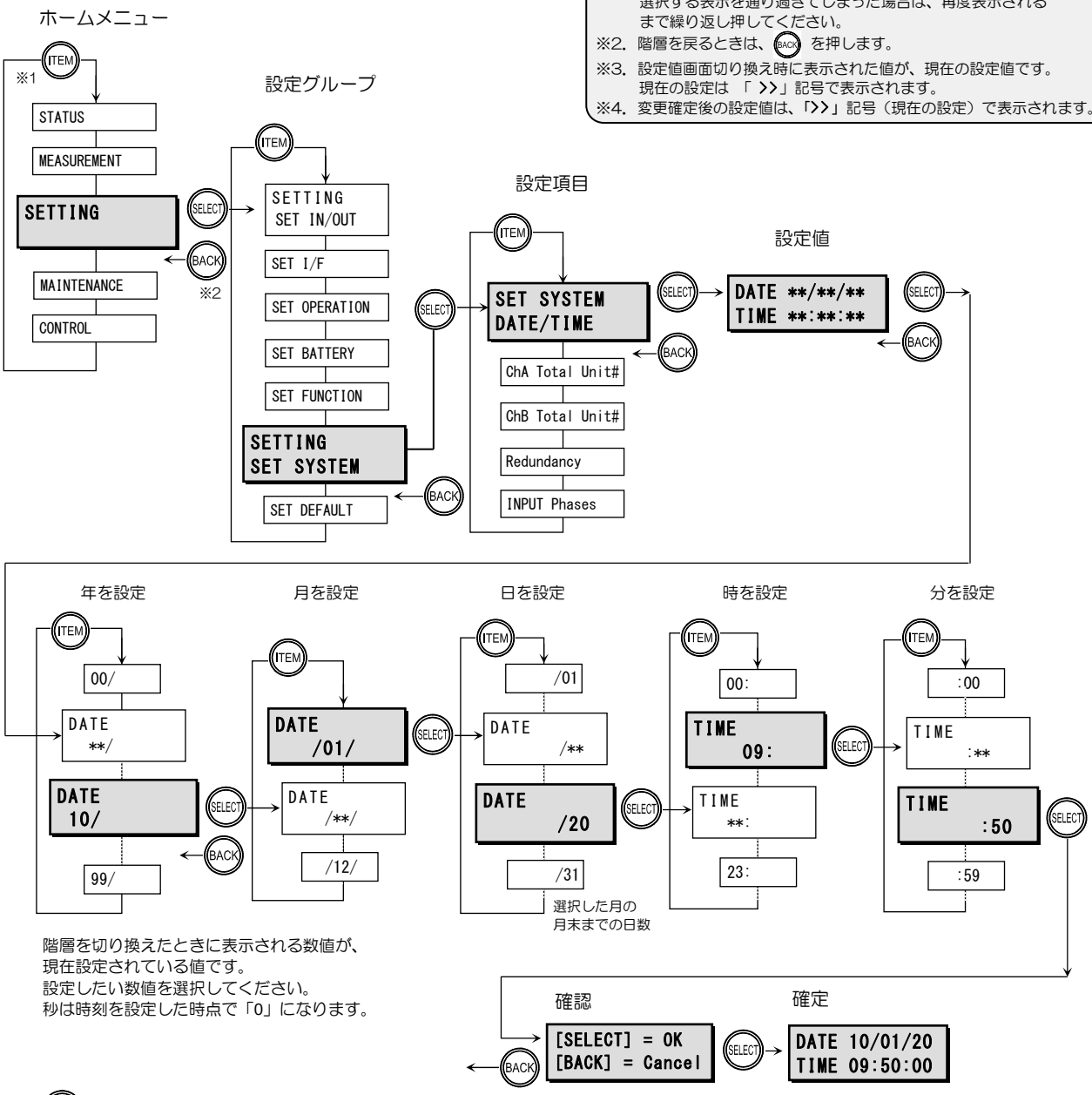
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で切り換え、設定する値を SELECT で選択します。この操作を繰り返し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：時刻を「2010 年 1 月 20 日 9 時 50 分」に設定する場合

ポイント

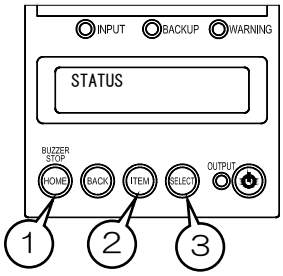
※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示される
まで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.19　並列接続するＵＰＳユニットの台数を設定する

ＵＰＳシステムを構成する並列接続されるＵＰＳユニットの台数を設定します。
工場出荷時に設定されていますので、通常は設定変更しないでください。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

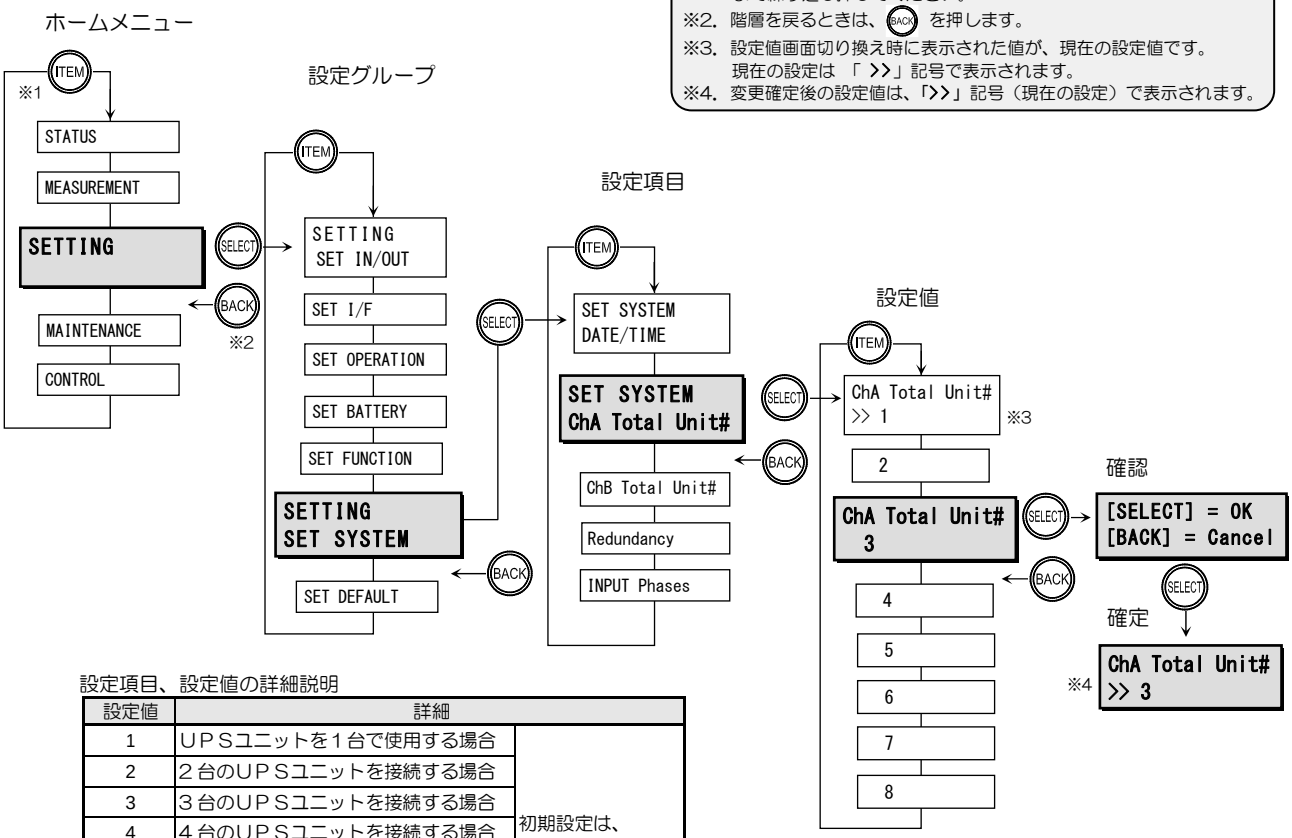
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：ＵＰＳユニット台数を「3」に設定する場合

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示される
まで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細	
1	ＵＰＳユニットを１台で使用する場合	初期設定は、ＵＰＳ型番により異なります。
2	２台のＵＰＳユニットを接続する場合	
3	３台のＵＰＳユニットを接続する場合	
4	４台のＵＰＳユニットを接続する場合	
5	５台のＵＰＳユニットを接続する場合	
6	６台のＵＰＳユニットを接続する場合	
7	７台のＵＰＳユニットを接続する場合	
8	８台のＵＰＳユニットを接続する場合	

ユニットを増設した場合、ユニットの接続台数を変更した場合などに
設定を変更します。
実際に接続するＵＰＳユニットの台数を設定してください。
運転中に何らかの要因でＵＰＳユニットが停止し、運転している
ＵＰＳユニットの台数と、設定した台数が相違する場合はＬＣＤ
パネルのＵＰＳ状態表示に「Total Unit# Err」が表示されます。
「§3.22 設定値をリセットする」の操作をした場合、設定値は「1」に
なります。ＵＰＳシステムに合わせて再設定してください。

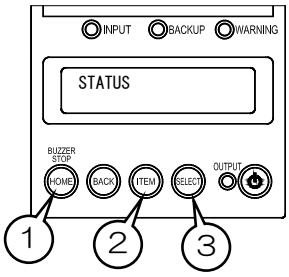
ご注意

ChB Total Unit# の設定値は「1」のままとし、
変更しないでください。誤って変更してしまった場合は、
設定項目で ChB Total Unit# を選択し、同様の手順で
設定を変更してください。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.20　運転システムを設定する

ＵＰＳの運転システムを設定します。並列冗長運転 または、単機および並列運転から選択します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

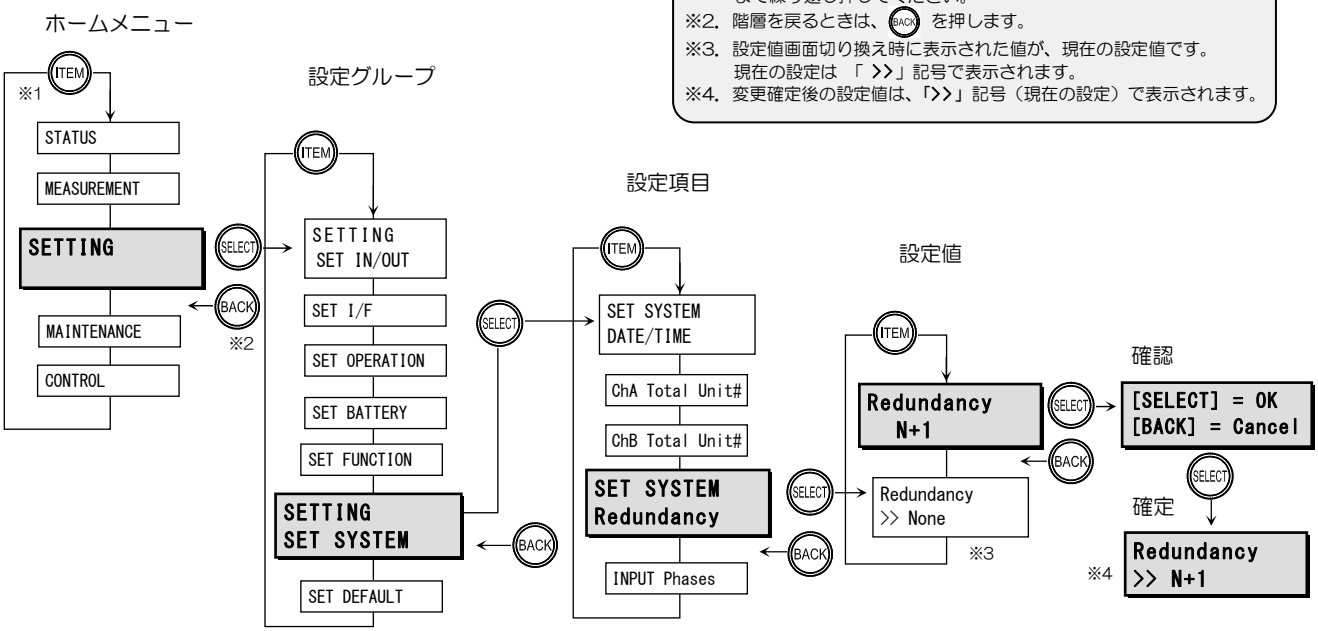
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：運転システムを「N+1」に設定する場合

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示される
まで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

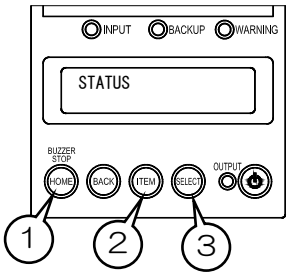
設定値	詳細	
N+1	並列冗長運転システムに設定する。	・並列冗長運転システム：負荷容量に対して並列接続されたＵＰＳユニット１台分の容量の余裕を持たせて運転する場合。
初期設定 None	単機運転 および 並列運転システムに設定する。	・単機運転システム：ＵＰＳユニット１台の場合。 ・並列運転システム：並列接続されたＵＰＳユニット台数の合計容量を接続可能な負荷容量として運転する場合。

「N+1」に設定した場合、ＵＰＳに接続している負荷容量に対して、ＵＰＳ容量にＵＰＳユニット１台分の余裕がなくなったときは、ＬＣＤ画面に「FT Disabled」が表示されます。ＵＰＳに接続している負荷を減らしてください。
ただし、「N+1」に設定した場合でも、ＵＰＳの計測情報表示で表示される負荷率「LF =　%」は、「None」に設定した場合と同じです。詳細は「§８ 計測情報表示について」をご覧ください。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§3.21　入力相数を設定する

ＵＰＳの入力相数を設定します。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

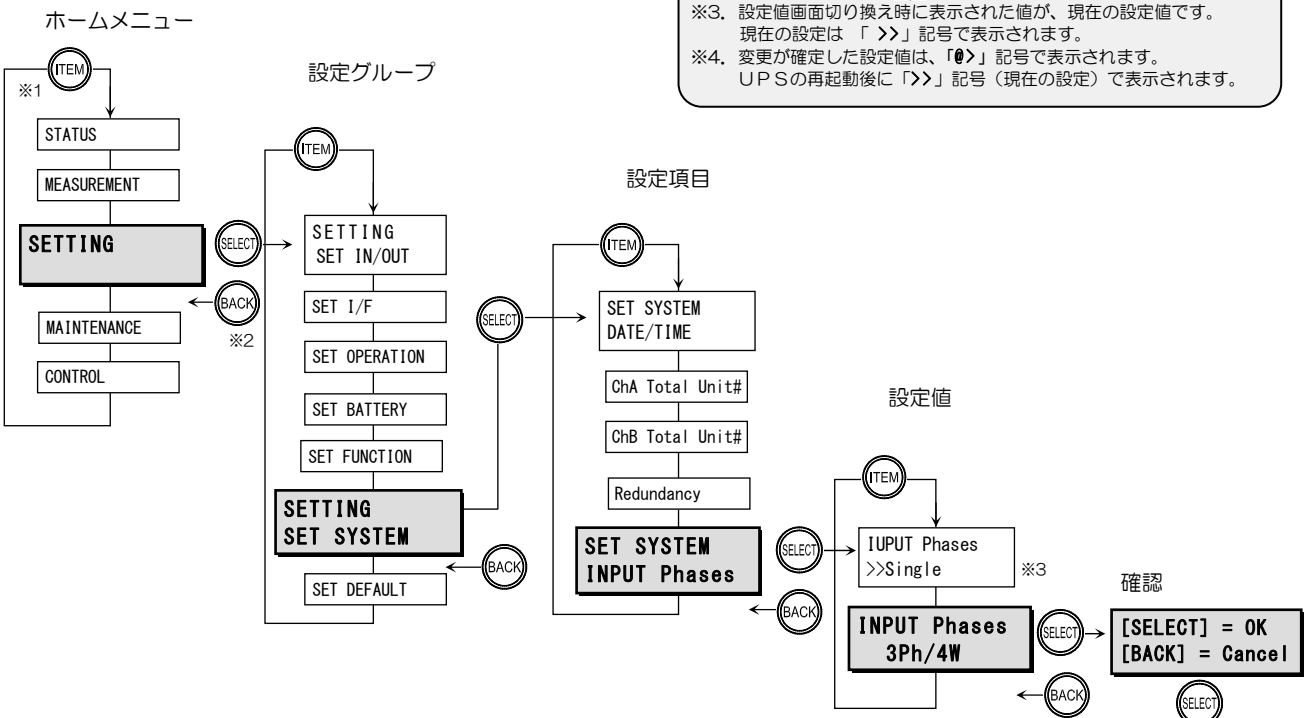
⑤ ITEM で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

例：入力相数を「3Ph/4W」（三相４線）に設定する場合

「3Ph/4W」に設定する手順を例としていますが、このＵＰＳシステムでは設定値を「Single」のままにして、設定を変更しないでください。

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は 「 >>」記号で表示されます。
※4. 変更が確定した設定値は、「@>」記号で表示されます。
ＵＰＳの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	Single	単相２線
	3Ph/4W	三相４線　　この設定値には設定しないでください。

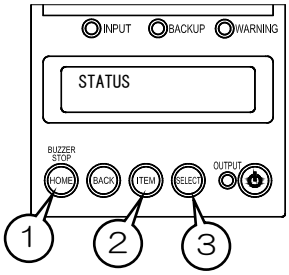
⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

ご注意

- 設定を変更した後は、「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- ＵＰＳ状態表示に「Req. to restart」が表示されているときは・・
設定変更後にＵＰＳが再起動されていない状態です。
「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。

§3.22　設定値をリセットする

§3.1～§3.21 までの設定項目の設定値を工場出荷時の初期設定にリセットします。
初期設定は「§3. ＵＰＳの設定をする」の設定項目一覧表で確認してください。
いったんリセットした設定値をもとに戻すことはできません。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

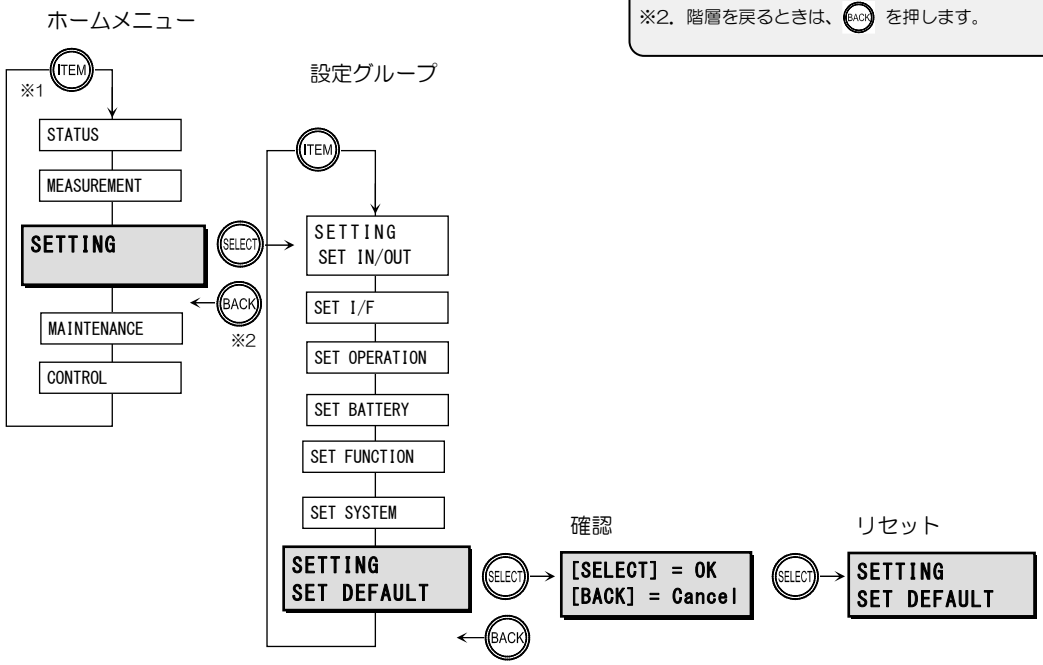
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」へ進みます。

⑤ SELECT を押し確認画面を表示させ、再度 SELECT を押してリセットします。

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示される
まで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。

例：設定をリセットする場合



⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

ご注意

- つぎの項目は、リセット操作をすると初期設定ではなく、下記の設定値になります。
ＵＰＳシステムの仕様に合わせ再設定してください。

項目番号	項目	リセット後の設定値
§3.4	計測情報に表示される電圧値を設定する	200V/200V(S)
§3.19	並列接続するＵＰＳユニットの台数を設定する	1

- リセット操作により、ＵＰＳを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された場合は、ＵＰＳの再起動が必要です。
この場合、ＵＰＳ状態表示に「Req. to restart」が表示されますので、「§3.23 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。

§3.23　ＵＰＳを再起動※する

※ 再起動とは・・

運転中のＵＰＳをいったん停止し、もう一度運転することです。
ＬＣＤパネル操作説明書（本書）、またはＵＰＳ本体の取扱説明書に、設定メニューの設定値変更を有効にするときなど「ＵＰＳを再起動してください。」と記載されている場合は、運転中のＵＰＳを停止し、指定された時間が経過してから再度ＵＰＳを運転してください。

６ページの設定項目一覧表の設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にＵＰＳを再起動しないと設定値が有効になりません。「★」印のメニューの設定値を変更した場合は、下記の手順をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。
ＵＰＳの停止、起動操作はＵＰＳの型番により異なります。詳細はＵＰＳ本体の取扱説明書「ＵＰＳの運転操作」の項目をご覧ください。ＵＰＳを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。

負荷機器を停止する

↓

ＵＰＳの停止操作をする

↓

ＵＰＳのＬＣＤパネル、本体操作パネルの
ＬＥＤ、ＬＣＤ表示がすべて消灯したことを確認する

↓

１分 経過するまで待つ

↓

ポイント

ＵＰＳ本体の取扱説明書「ＵＰＳを停止する」項目の手順①から「１週間以上、ＵＰＳを使用しない場合は、手順○へ進みます。」へ進み、最後の手順まで操作して、ＵＰＳを停止してください。

ご注意

ＵＰＳの停止操作後、１分以上経過してから運転操作をしてください。ＵＰＳの停止操作をしても、停止直後は内部回路が動作しているため、一定時間経過しないとＵＰＳが完全に停止しません。

↓

ＵＰＳの運転操作をする

↓

ＵＰＳが正常に運転したことを確認する

↓

負荷機器を運転する

ポイント

ＵＰＳ本体の取扱説明書「ＵＰＳを運転する」項目をご覧になり操作してください。

§4. ＵＰＳの操作をする

「バッテリテスト」、「ＵＰＳの起動・停止」、「バイパス切換」の３つの操作を、コントロールメニューから実行することができます。操作方法の詳細は、§4.1～§4.4 の各項目をご覧ください。

操作項目一覧表

ホームメニュー：CONTROL

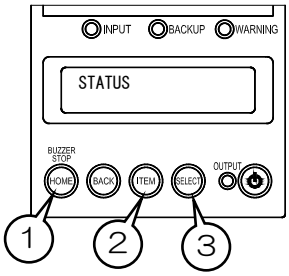
操作項目		表示項目		表示内容				参照項目	参照ページ
表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容		
BATTERY TEST	バッテリテスト	Start	実行	[SELECT] = OK	実行する	Control NG	実行中止	4.1	32
				[BACK] = Cancel	取り消し	Control OK	正常終了		
		STATUS	テスト状態	Test Condition	テスト結果	Possible	テスト開始可能	4.2	34
						Impossible	テスト開始不可		
						Testing	テスト中		
				Last Test Time	前回テスト実施日	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分		
				Last Result	前回の テスト結果	BATTST:OK	正常		
						BATTST:NG	異常		
						BATTST:No Result	前回履歴なし		
						BATTST:Error	エラー		
						BATTST:Suspended	中断		
INV ON	UPS の起動	[SELECT] = OK	ＯＮ	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了	4.3	35
		[BACK] = Cancel	取り消し						
INV OFF	UPS の停止	[SELECT] = OK	ＯＦＦ	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了		
		[BACK] = Cancel	取り消し						
BYPASS	バイパス運転 切り換え	[SELECT] = OK	切り換える	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了	4.4	36
		[BACK] = Cancel	取り消し						

§4.1　バッテリテストをする

バッテリの状態をテストします。出荷時に180日に１回、自動的にバッテリテストが実施されるように設定されています。
手動でバッテリテストをする場合は下記の手順で実施してください。
バッテリテストは負荷を停止させることなく実施できます。ただし、バッテリテスト実施前の12時間以内にＵＰＳがバックアップ運転をしていると、バッテリテスト結果が異常になることがありますので、12時間以内にバックアップ運転をしていない状態で実施してください。

ポイント

- バッテリテストを実施する時間(分)を設定することができます。「§3.13 バッテリテストの実行時間を設定する」をご覧ください。
- 自動で定期的にバッテリテストを実施させる期間(日数)を変更することができます。「§3.14 バッテリテストスケジュールを設定する」をご覧ください。



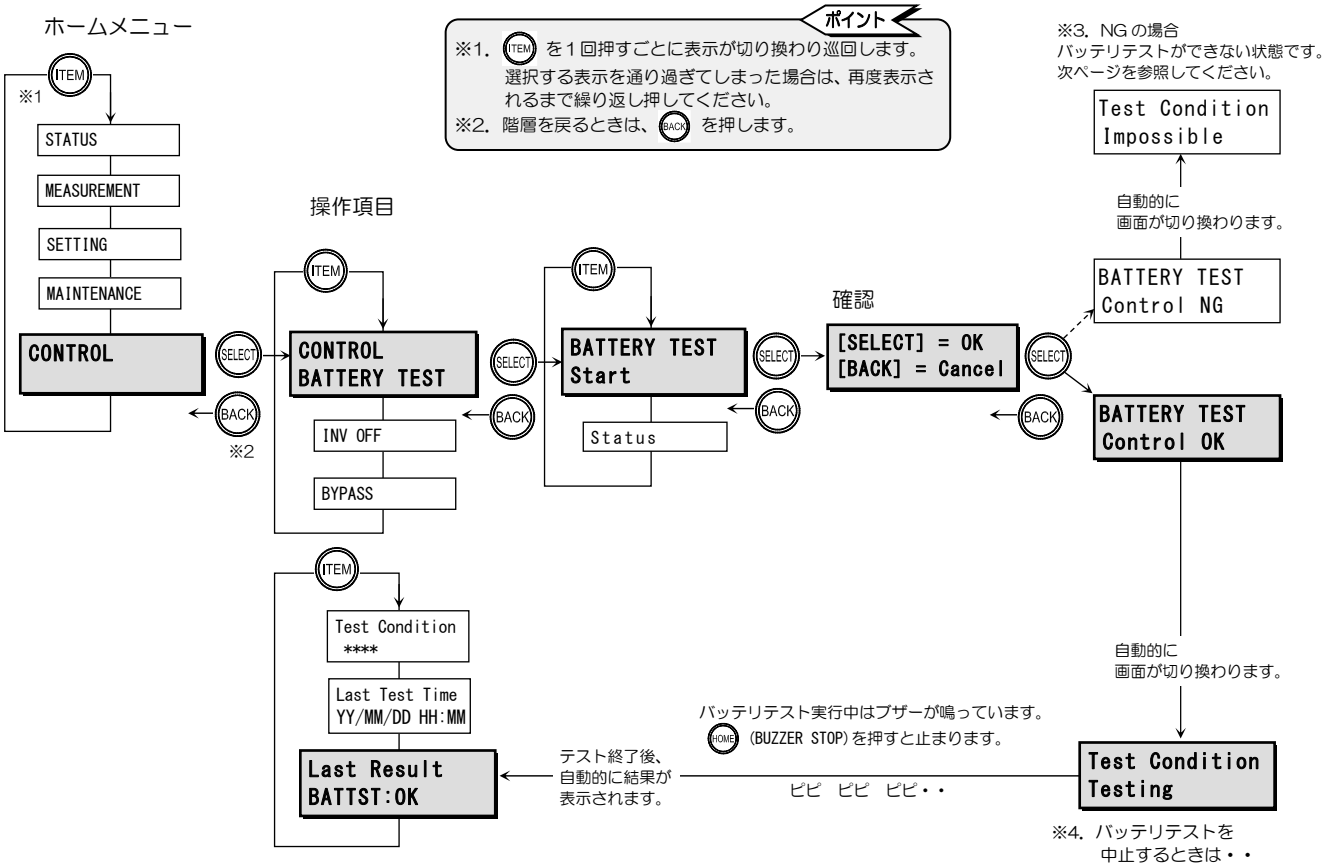
① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。

⑤ ITEM で操作する項目を切り換え、SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して実行します。



ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。

バッテリテストの表示項目

項目		内容	
表示	内容	表示	内容
Test Condition	テスト状態	Possible	テスト開始可能
		Impossible	テスト開始不可
		Testing	テスト中
Last Test Time	前回のバッテリテスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分 「**/**/** **:**」が表示された場合は、前回のバッテリテスト結果がない状態です。
Last Result	バッテリテスト結果	BATTST:OK	バッテリは正常です。
		BATTST:NG	バッテリが異常の可能性があります。
		BATTST:No Result	バッテリテストの前回履歴がありません。
		BATTST:Error	エラー発生。何らかの要因により バッテリテストができませんでした。
		BATTST:Suspended	テストが中断されました。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

※3.「Control NG」が表示され、バッテリテストが実行されなかったときは、ＵＰＳが下記のバッテリテストができない状態になっている可能性があります。 BACK で戻り、ＵＰＳの状態を確認し、再度操作をしてください。

バッテリテストについてのご注意

判定結果は目安です。正常と判定された場合でもＵＰＳ本体の取扱説明書の「バッテリ交換の目安」をご覧になり、交換時期になりましたら、お早めに購入先または当社までご連絡ください。

バッテリテストができない状態

- 下記の①～⑦の状態のときは、バッテリテストはできません。

① インバータ停止中
② バイパス給電中
③ バッテリ運転中
④ 遠隔操作などによるシャットダウン動作中
⑤ ＵＰＳ故障
⑥ 非同期運転時
⑦ 「§3.3 周波数を設定する」で「50Hz」または「60Hz」に設定した場合

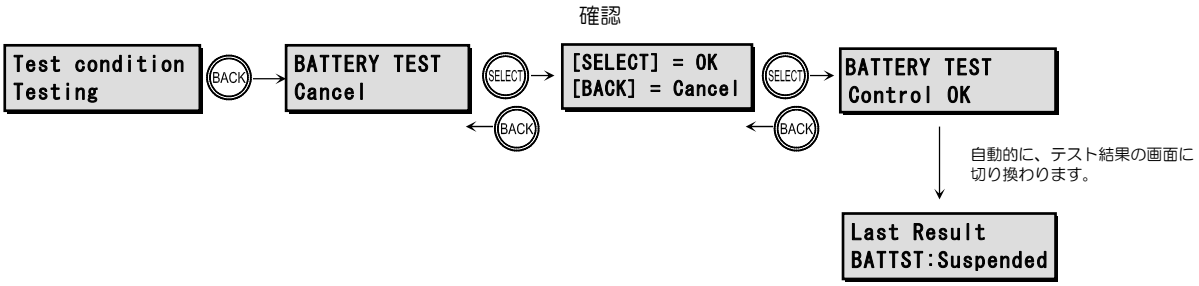
バッテリテストの中断について

- バッテリテスト中にテストを中止する場合は・・・
  LCD画面に「Cancel」が表示されている状態で SELECT を押します。 ⇒ ＵＰＳは通常運転に戻ります。

- バッテリテスト中に①～③のことが発生、または④～⑦の操作をした場合はバッテリテストは中止されます。

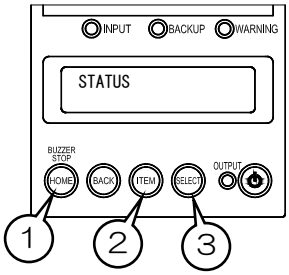
① 入力（電圧、周波数）の異常
② ＵＰＳ故障
③ 出力過電流
④ 強制バイパススイッチを切り換えた。
⑤ MAIN MCCB を「OFF」にした。
⑥ ＵＰＳのＯＦＦ操作をした。
⑦ 電源管理ソフトウェアでバッテリテスト中止を実行。

※4 バッテリテストを中止するときは・・
下図のように進みます。



§4.2　バッテリテスト結果を見る

自動的に実施されたバッテリテスト、または手動で実施したバッテリテストの結果を見ます。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

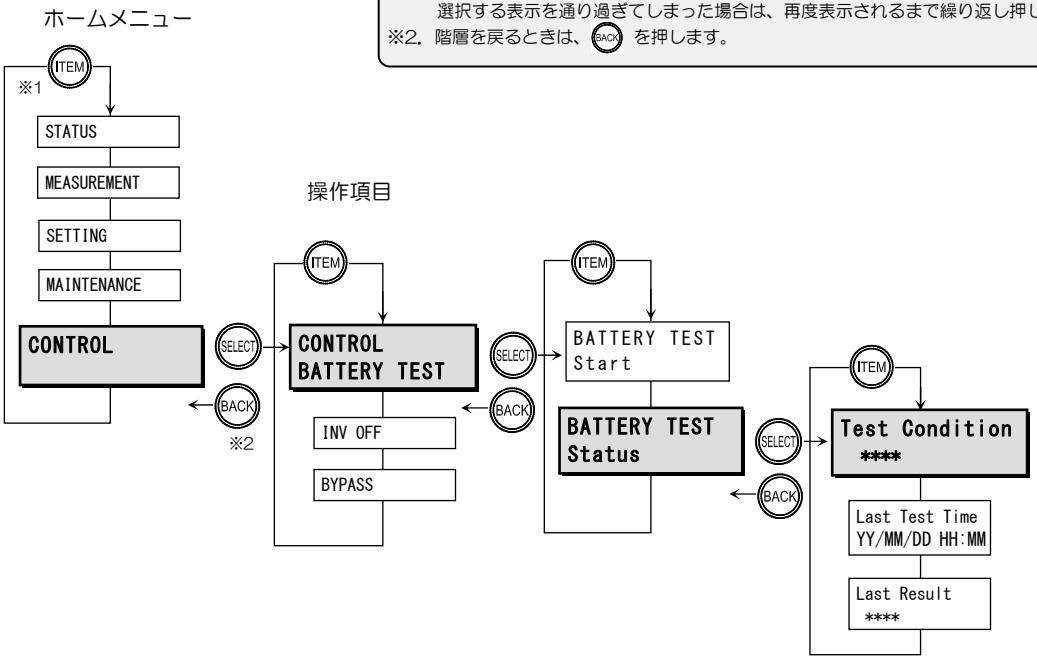
③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。

⑤ ITEM で操作する項目を切り換え、SELECT で選択し、表示させます。

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。



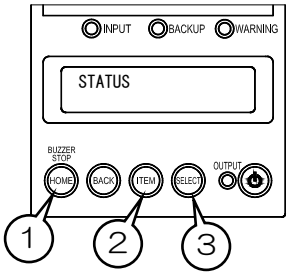
バッテリテストの表示項目

項目		内容	
表示	内容	表示	内容
Test Condition	テスト状態	Possible	テスト開始可能
		Impossible	テスト開始不可
		Testing	テスト中
Last Test Time	前回のバッテリテスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分 「**/**/** **:**」が表示された場合は、前回のバッテリテスト結果がない状態です。
Last Result	前回のバッテリテスト結果	BATTST:OK	バッテリは正常です。
		BATTST:NG	バッテリが異常の可能性があります。
		BATTST:No Result	バッテリテストの前回履歴がありません。
		BATTST:Error	エラー発生。何らかの要因により バッテリテストができませんでした。
		BATTST:Suspended	テストが中断されました。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§4.3　ＵＰＳを起動する または 停止する

ＬＣＤパネルのコントロールメニューから、ＵＰＳシステムの起動、停止の操作をすることができます。
この操作をすると、ＵＰＳシステムが起動または停止します。この操作ではＵＰＳユニットごとの起動または停止はできません。
ＵＰＳを停止するときは、事前に必ず負荷機器を停止してください。



① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

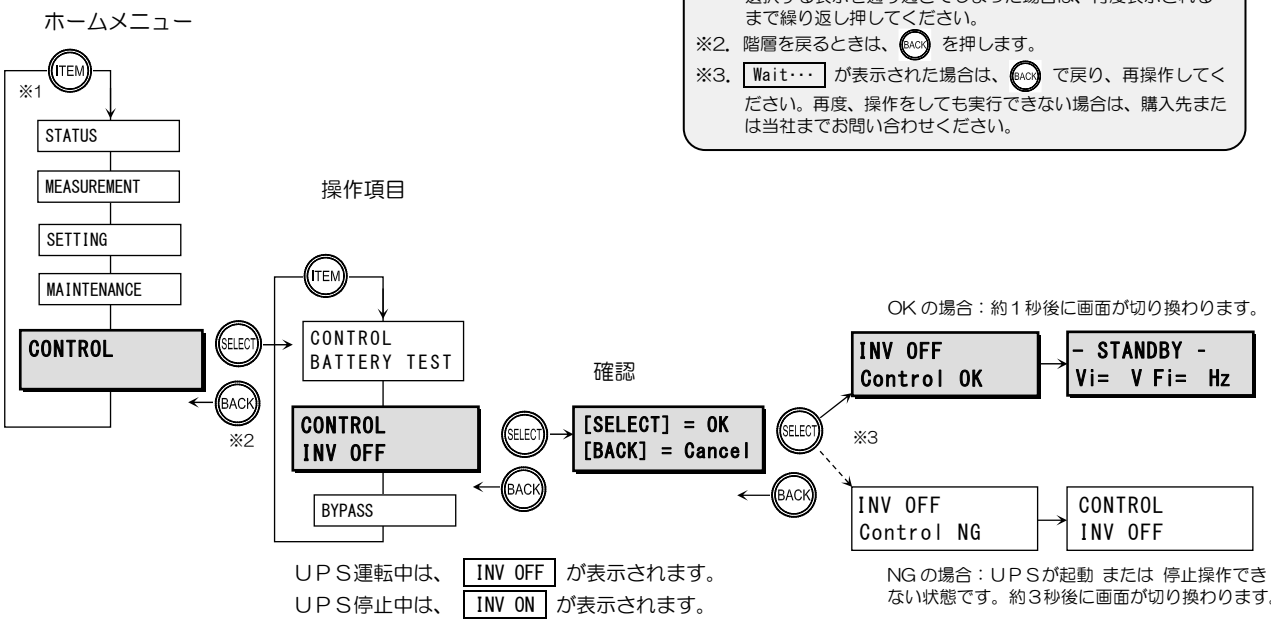
④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。

⑤ ITEM で操作する項目を切り換え、 SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して実行します。

例：ＵＰＳを停止する

ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。
※3. Wait･･･ が表示された場合は、BACK で戻り、再操作してください。再度、操作をしても実行できない場合は、購入先または当社までお問い合わせください。



ＵＰＳ運転中は、 INV OFF が表示されます。
ＵＰＳ停止中は、 INV ON が表示されます。

起動・停止操作についてのご注意

下記の状態のときは、操作はできません。

- 起動操作ができない状態
  ① インバータ起動中
  ② 入力電圧、入力周波数が定格範囲外の場合
  ③ ＵＰＳ故障中
  ④ Remote OFF 信号連続入力中
  ⑤ EPO 信号入力中
  ⑥ 強制バイパススイッチ Forced Bypass が「Bypass」側の場合。
- 停止操作ができない状態
  ① バイパス運転中
  ② インバータ停止中

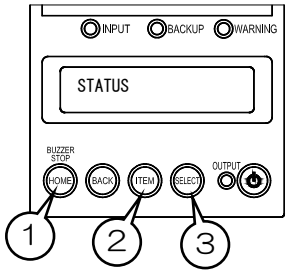
ON/OFFボタンによる起動・停止操作

ＬＣＤパネルの ボタン または 本体操作パネルの ボタンでも、ＵＰＳの起動・停止操作ができます。
詳細は、ＵＰＳ本体の取扱説明書「運転操作」をご覧ください。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§4.4　バイパス運転に切り換える

ＵＰＳの保守時、万一の故障時などに、下記の操作でバイパス運転に切り換えることができます。



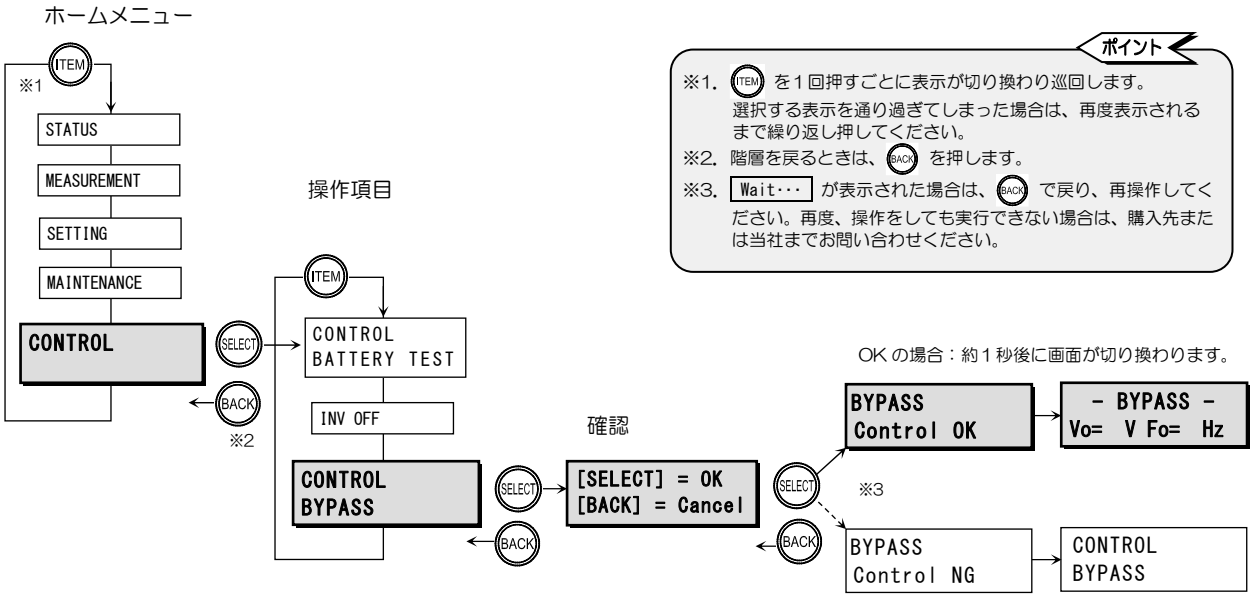
① HOME を押して LCD 画面を表示させます。

② ITEM を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。

③ SELECT を押して決定します。

④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。

⑤ ITEM で操作する項目を切り換え、SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して実行します。



ポイント

※1. ITEM を１回押すごとに表示が切り換わり巡回します。
選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。

※2. 階層を戻るときは、BACK を押します。

※3. Wait･･･ が表示された場合は、BACK で戻り、再操作してください。再度、操作をしても実行できない場合は、購入先または当社までお問い合わせください。

バイパス運転切り換えについてのご注意

- UPSが故障し、出力が停止している場合は、上記の操作でバイパス運転へ切り換えることはできません。
- 「§3.3 周波数を設定する」で設定値が「Auto」に設定されている場合、UPSが同期運転中は無瞬断でバイパス運転へ切り換わります。非同期運転中は瞬断切り換えとなります。設定値が「50Hz」または「60Hz」に設定されている場合、バイパス運転への切り換えは、瞬断切り換えとなります。
- UPSの正面パネル内部にある Forced Bypass の操作により、バイパス運転に切り換えることもできます。
- バイパス運転中に MAIN MCCB を「OFF」にすると、LCD画面に「Byp Fuse Error」が表示され、【WARNING】㊝【ALARM】㊝が点灯し、出力供給が停止しますのでご注意ください。 MAIN MCCB を「ON」にするとバイパス運転に戻ります。

バイパス運転からインバータ運転への切り換え方法

下記のＡまたはＢの操作でインバータ運転へ切り換えます。

Ａ．ＬＣＤパネルの ボタン または 本体操作パネルの ボタンを押してＯＮ操作をします。
Ｂ．「§4.3 UPSを起動する または停止する」の 操作項目 で「CONTROL INV ON」を選択します。
操作手順は「§4.3 UPSを起動する または 停止する」をご覧ください。

ただし、上記のＡまたはＢ操作をしても、「§3.3 周波数を設定する」で設定値が「Auto」に設定されている場合は、ＵＰＳが同期運転をしていないとインバータ運転に切り換わりません。設定値が「50Hz」または「60Hz」に設定されている場合は、入力周波数が「§3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で設定した値（±1%，±3%，±5%）の範囲内にないとインバータ運転に切り換わりません。

⑥ HOME でホームメニューに戻ります。

§５．メンテナンスメニュー（サービス員※用）

メンテナンスメニューは、ＵＰＳのメンテナンスをするときに使用するサービス員用のメニューです。
メンテナンスメニューの項目は「§6. メニュー一覧表」に記載されていますが、お客様は操作をしないでください。

操作方法はサービス員用の保守説明書に記載されています。

※ サービス員について

当社および当社から委託された本製品の知識を有するサービス技術員を指します。当該サービス員以外はメンテナンスを実施しないでください。

§６．メニュー一覧

１．STATUS ／状態

ホームメニュー	ＵＰＳ運転モード		状態表示			
	表示	内容	表示	内容	表示	内容
STATUS ＵＰＳの状態表示	STANDBY	待機中	Output Not Sync	非同期運転	Batt Life End	バッテリ寿命
	ONLINE	オンライン	Input Freq Err	入力周波数異常	Batt Life Warn	バッテリ寿命警告
	BYPASS	バイパス運転中	Input Vol Hi	入力過電圧	Batt Vol Error	バッテリ電圧異常
	BATTERY	バッテリ運転中	Input Vol Low	入力電圧低下	Batt Vol End	バッテリ放電終止
	BATT TEST	バッテリテスト中	Input Error	入力異常	Batt Vol Low	バッテリ電圧低下
	SYS FAILURE	システム故障中	INV Vol Hi	インバータ過電圧（重故障）	CHG Error	充電器異常（重故障）
			INV Vol Low	インバータ電圧低下（重故障）	CONV Error	コンバータ異常（重故障）
			INV Vol Error	インバータ電圧検出回路異常（重故障）	BF Circuit Error	バックフィード防止回路異常（重故障）
			Output Stop (HV)	バイパス出力断（過電圧）	FIN Temp Error	フィン温度異常（重故障）
			Over Load	過負荷	DSP Error	コントローラ異常（重故障）
			Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数	BUS Error	直流電圧異常（重故障）
			Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数	AUX2 Error	補助電源異常（軽故障）
			LF= % CHG= % ※	負荷率 %、充電率 %	Total Unit# Err	総ユニット数エラー（重故障）
			LF= % Tim= m ※	負荷率 %、放電時間 分	LCD Error	LCD パネル異常
			Byp Fuse Error	バイパスヒューズ異常（軽故障）	Minor Error	軽故障
			Bypass SW ON	バイパススイッチ ON	Fatal Error	重故障
			Req To Restart	再起動要	FT Disabled	冗長運転不可（軽故障）
			Remote	遠隔操作によるバッテリテスト実行中	Check Unit Error	ユニット異常あり、確認要
			Remote OFF	Remote OFF による停止中	EPO ON	EPO による停止中
			Output Not Sync	非同期運転	Batt Life End	バッテリ寿命
			Input Freq Err	入力周波数異常	Batt Life Warn	バッテリ寿命警告

※.「§８ 計測情報表示について」をご覧ください。

２．MEASUREMENT／計測

ホームメニュー	計測項目		計測値表示	
	表示	内容	表示	内容
MEASUREMENT 計測値表示	INPUT	入力計測値	Vin = V	入力電圧
			Fin = Hz	入力周波数
	OUTPUT	出力計測値	Vout = V	出力電圧
			Iout = A	出力電流
			LF = % ※	負荷率
			Watt = kW	出力電力
			Fout = Hz	出力周波数
	BATTERY	バッテリ計測値	Vbatt = V	バッテリ電圧
			ChgRate = % ※	バッテリ充電率
			RunTm = Min. ※	バッテリ残保持時間
			Power Failure Times	停電発生回数
			Battery Life Years	バッテリ寿命
			Backup OPE. Time Sec.	バッテリ運転積算時間
	CHARGER	充電器計測値	Vchg = V	充電器電圧
			Ichg = A	充電器電流
	TEMPERATURE	温度計計測値	T-Amb = ℃	周囲温度

※.「§８ 計測情報表示について」をご覧ください。

3．SETTING／設定

ホームメニュー	設定グループ	設定項目 表示	設定項目 内容	設定項目 説明	設定値 表示	設定値 内容	初期設定
SETTING 各種の設定	SET IN/OUT 入出力設定	Voltage	電圧 ★	ＵＰＳの電圧を設定。 出力電圧と入力電圧は同一。	200V	出力電圧200V	※
					220V	出力電圧220V	
					230V	出力電圧230V	
					240V	出力電圧240V	
					208V	出力電圧208V	
		FREQ Range	周波数同期 追従範囲 ★	出力周波数の入力周波数に追従する範囲(%)を設定。	1%	±1%	
					3%	±3%	※
					5%	±5%	
		Frequency	出力周波数 ★	出力周波数を設定。	Auto	自動選択	※
					50Hz	50Hz固定	
					60Hz	60Hz固定	
		Display	電圧電流表示	計測表示などで表示される 入出力電圧、電流を設定。	200V/200V(S)	200V/200V(S)	UPS 型番 により異なり ます。
					200V/100V	200V/100V	
					100V/200V	100V/200V	
					100V/100V	100V/100V	
					200V/200V	200V/200V	
	SET I/F インタフェース設定	Interface	インタフェース	PC インタフェースコネクタ 使用時のインタフェースを設定。	Standalone	スタンドアロン	
					WS	ワークステーション	※
					Terminal *1	ターミナル	
		Baud Rate	通信ボーレート	パーソナルコンピュータ、LAN カード、ワークステーション 接続時の通信ボーレートを設定。	9600	9600bps	※
					4800	4800bps	
					2400	2400bps	
	SET OPERATION 動作設定	Start Condition	復電時の動作	停電発生時、バッテリ放電終止 による UPS 停止後、商用電源が 復電した場合の UPS の動作を 設定。	Auto	自動	※
					Any Condition	常時起動	
					STOP	停止	
					BATT>30%	充電率30%以上で起動	
					BATT>50%	充電率50%以上で起動	
					BATT>80%	充電率80%以上で起動	
		BUZZER	ブザー音	ブザー音が鳴るタイミングを 設定。	ALL	すべて	※
					Group #1	グループ１	
					Group #2	グループ２	
					SILENT	停止	
		OFF Operation	OFF 操作	UPS を停止する場合の本体操作 パネル◉の OFF 操作を設定。	1 Sec.	１秒間押下でOFF	※
					3 Sec.	3秒間押下でOFF	
					Unique	特殊操作でOFF	
		OVER Load	過負荷時の動作	過負荷によるバイパス給電への 切換後の動作を設定。	Auto Ret BYP	バイパス自動復帰	
					Stay on BYP	過負荷時バイパス給電	※
					Output OFF *1	出力停止	
		Output @OFF	OFF 時 ★ 給電状態	UPS 停止時の出力の給電状態 を設定。	OFF	出力停止	※
					BYPASS	バイパス給電	
	SET BATTERY バッテリ設定	BATLV Timing	BATLV タイミング	バッテリ電圧低下警告の 発生タイミングを設定。	Voltage	バッテリ電圧レベル検出	※
					2 Min.	バッテリ容量残り2分	
					3 Min.	バッテリ容量残り3分	
					5 Min.	バッテリ容量残り5分	
					10 Min.	バッテリ容量残り10分	
		BATT TST Length	バッテリテスト 時間	バッテリテストの実行時間を設定。	2 Min	2分間実行	※
					5 Min.,	5分間実行	
					10 Min.	10分間実行	
					20 Min.	20分間実行	
		BATT TST Period	バッテリテスト 周期	自動的に実施されるバッテリ テストの期間(日数)を設定。	180 days	180日で自動テスト	※
					90 days	90日で自動テスト	
					30 days	30日で自動テスト	
					None	自動テストしない	
	SET FUNCTION 機能設定	RUN TIM @PF	停電時運転時間	停電発生時、UPSがバックアップ を開始してから出力を停止するま での時間を設定。	BATT END	放電終止まで	※
					10 Sec.	10秒後に出力停止	
					30 Sec.	30秒後に出力停止	
					1 Min.	1分後に出力停止	
					3 Min.	3分後に出力停止	
					5 Min.	5分後に出力停止	
					10 Min.	10分後に出力停止	
		RING Output	RING動作	UPS起動時にRING信号を 出力する/しないを設定。	Output	出力する	
					None	出力しない	※
		Out Vol Adj.	出力電圧調整	3.1項で設定した定格電圧に 対する調整値を設定。 調整値は１段階で約１Ｖです。	-3	3段階マイナス	
					-2	2段階マイナス	
					-1	1段階マイナス	
					0	調整しない	※
					+1	1段階プラス	
					+2	2段階プラス	
					+3	3段階プラス	
	SET SYSTEM システム設定	DATE/TIME	月日／時刻	UPSの時刻を設定。	DATE YY/MM/DD TIME HH:MM:SS	月日 年/月/日 時刻 時/分/秒	
		ChA Total Unit#	ChA システム 並列接続台数 設定	UPSシステムを構成するUPS ユニットの接続台数を設定。	1	ユニット１台	UPS 型番 により異な ります
					2	ユニット2台接続	
					3	ユニット3台接続	
					4	ユニット4台接続	
					5	ユニット5台接続	
					6	ユニット6台接続	
					7	ユニット7台接続	
					8	ユニット８台接続	
		ChB Total Unit#	ChB システム 並列接続台数 設定	設定変更しないでください。	1	設定変更しないで ください。	※
					2		
					3		
					4		
					5		
					6		
					7		
					8		
		Redundancy	UPSの運転 システム	並列冗長運転/単機・並列運転を 設定。	N+1	冗長運転する	
					None	単機および並列運転する	※
		INPUT Phases	入力相数 ★	UPSの入力相数を設定。	Single	単相２線	※
					3Ph/4W *1	三相４線	
	SET DEFAULT 設定値 初期化	SET DEFAULT	工場出荷時の状態にリセット。		—	—	—

★：UPSの再起動が必要な設定項目。 ＊1 ：この設定値には設定しないでください。

4．CONTROL／操作

ホームメニュー	操作項目		表示項目		表示内容			
	表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容
CONTROL ＵＰＳの操作	BATTERY TEST	バッテリテスト	Start	実行	[SELECT] = OK	実行する	Control NG	実行中止
					[BACK] = Cancel	取り消し	Control OK	正常終了
			STATUS	テスト状態	Test Condition	テスト状態	Possible	テスト開始可能
							Impossible	テスト開始不可
							Testing	テスト中
					Last Test Time	前回テスト実施日	YY/MM/DD 00:00	年/月/日 時:分
					Last Result ※１	前回のテスト結果	BATTST:OK	正常
							BATTST:NG	異常
							BATTST: No Result	前回履歴なし
							BATTST:Error	エラー
							BATTST:Suspended	中断
	INV ON	UPS の起動	[SELECT] = OK	ＯＮ	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了
			[BACK] = Cancel	取り消し				
	INV OFF	UPS の停止	[SELECT] = OK	ＯＦＦ	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了
			[BACK] = Cancel	取り消し				
	BYPASS	バイパス運転 切り換え	[SELECT] = OK	切り換える	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了
			[BACK] = Cancel	取り消し				

5．MAINTENANCE／保守　（サービス員専用）

ホーム メニュー	操作グループ	表示項目		項目					
		表示	内容						
MAINTENANCE メンテナンス	MAINTENANCE SYSTEM メンテナンス ＵＰＳシステム	FAIL HIST	故障履歴	HIST #(1～4)	故障履歴表示 最大４件まで保存				
		OPE. HIST	操作履歴	HIST #(1～8)	操作履歴表示 最大８件まで保存				
		INTERNAL INFO.	バッテリ情報	BATTERY INFO.	バッテリ情報	Power Failure Times	停電発生回数		
						Battery Life Years	バッテリ寿命		
						INV OPE. Time Hours	UPS 運転積算時間		
						Backup OPE. Time Sec.	バッテリ運転積算時間		
						Last Test Time YY/MM/DD HH:MM	前回のテスト実施日		
						Last Result ※1	前回のテスト結果		
				RESET BATT INFO.	バッテリ情報リセット				
				BATT. CAPA	バックアップ時間設定	設定値	5Min.	5分	初期設定はUPS型番により異なります。
							10Min	10分	
							15Min.	15分	
							25Min.	25分	
							30Min.	30分	
							35Min.	35分	
							45Min.	45分	
							60Min.	60分	
							120Min.	120分	
							180Min.	180分	
							360Min.	360分	
				BATT. Life	バッテリ寿命設定	設定値	5Years	5年	初期設定
							10Years	10年	
							13Years	13年	
		Unit INFO.	システム情報	UPS Model	ＵＰＳモデル名	Rated voltage	定格入力電圧		
				ROM Ver.	プログラムバージョン	Pow Dist Num	出力系統数		
				Run Time	定格バックアップ時間	Always Out	常時出力の有無		
				Out Capa	定格容量	Serial ID	シリアル番号		
				Input Phases	入力相数	P3-LCD Ver.	LCDプログラムバージョン		
				Output Phases	出力相数				
	MAINTENANCE UNIT1 ¦ UNIT8 メンテナンス UPS ユニット１ ¦ UPS ユニット８	FAIL HIST	故障履歴	HIST #(1～4)	故障履歴表示 最大４件まで保存				
		OPE. HIST	操作履歴	HIST #(1～8)	操作履歴表示 最大８件まで保存				
		INTERNAL INFO.	バッテリ情報	BATTERY INFO.	バッテリ情報	Power Failure Times	停電発生回数		
						Battery Life Years	バッテリ寿命		
						INV OPE. Time Hours	UPS 運転積算時間		
						Backup OPE. Time Sec.	バッテリ運転積算時間		
						Last Test Time YY/MM/DD HH:MM	前回のテスト実施日		
						Last Result ※1	前回のテスト結果		
				RESET BATT INFO.	バッテリ情報リセット				
		Unit INFO.	システム情報	UPS Model	ＵＰＳモデル名	Rated Voltage	定格入力電圧		
				ROM Ver.	プログラムバージョン	Pow Dist Num	出力系統数		
				Run Time	定格バックアップ時間	Always Out	常時出力の有無		
				Out Capa	定格容量	Serial ID	シリアル番号		
				Input Phases	入力相数	P3-LCD Ver.	LCDプログラムバージョン		
				Output Phases	出力相数				
		STATUS	ユニット状態表示	「1.STATUS」と同じ。					
		MEASUREMENT	ユニット計測表示	Vbatt = V	バッテリ電圧	Vinv = V	インバータ電圧		
				Vchg = V	充電器電圧	Iinv = A	インバータ電流		
				Ichg = A	充電器電流	Vbus = V	バス（BUS）電圧		
				Tamb = ℃	周囲温度				

※1.「MAINTENANCE」メニューのLast Resultの項目は、「CONTROL」メニューのLast Resultと同じです。

§7. 状態表示説明

ホームメニュー「STATUS」でLCD画面に表示されるＵＰＳ状態の詳細は下表のとおりです。
お客様で対応できない場合、ＵＰＳの故障時は、購入先または当社までご連絡ください。

ＵＰＳ運転モード		状態表示		
表示	内容	表示	内容	詳細 および 対応
STANDBY	待機中	Output Not Sync	非同期運転	入力電源と非同期で給電しています。 バイパス運転への切り換えは瞬断切換えとなります。
ONLINE	オンライン	Input Freq Err	入力周波数異常	入力電源が許容周波数範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、 自動的にバッテリからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、 入力電源状態および、ＵＰＳの周波数設定を確認してください。
BYPASS	バイパス運転中			
BATTERY	バッテリ運転中	Input Vol Hi	入力過電圧	入力電源が許容電圧範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、 自動的にバッテリからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、 入力電源状態および、ＵＰＳの周波数設定を確認してください。
BATT TEST	バッテリテスト中	Input Vol Low	入力電圧低下	
SYS FAILURE	システム故障中	Input Error	入力異常	入力電源の瞬断が検出されました。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、ＵＰＳの周波数設定を確認してください。
		INV Vol Hi	インバータ過電圧（重故障）	インバータ出力電圧の異常が検出されました。 UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		INV Vol Low	インバータ電圧低下(重故障)	
		INV Vol Error	インバータ電圧検出回路 異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		Output Stop (HV)	バイパス出力断（過電圧）	バイパス運転中に入力過電圧が検出されたため、給電が停止しました。
		OverLoad	過負荷	UPSに接続されている負荷機器が多く、UPSの定格容量を超えています。 接続している負荷機器を減らしてください。
		Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数	出力電圧、出力周波数
		Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数	入力電圧、入力周波数
		LF= % CHG= % ※	負荷率 %、充電率 %	負荷率 %、充電率 %
		LF= % Tim= m ※	負荷率 %、放電時間 分	負荷率 %、放電時間 分
		Byp Fuse Error	バイパスヒューズ異常 （軽故障）	UPSに接続されている負荷機器が多く、UPSの定格容量を大幅に超え、 MAIN MCCB がトリップしています。 接続している負荷機器を減らしてください。
		Bypass SW ON	バイパススイッチON	強制バイパススイッチ Forced Bypass が「Bypass」になっています。
		Req To Restart	再起動要	UPSを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された後、 再起動されていません。「§3.23」をご覧になりUPSを再起動してください。
		Remote	遠隔操作による バッテリテスト実行中	電源管理ソフトウェアからの遠隔操作により、バッテリテスト実行中です。
		Remote OFF	Remote OFFによる 停止中	リモートＯＦＦ信号が入力されているため、インバータの起動操作が中止されました。
		EPO ON	EPOによる停止中	ＥＰＯ信号が入力されているため、インバータの起動操作が中止されました。
		Batt Life End	バッテリ寿命	バッテリの寿命です。バッテリを交換してください。
		Batt Life Warn	バッテリ寿命警告	バッテリの余命が残り半年です。バッテリ交換の準備をしてください。
		Batt Vol Error	バッテリ電圧異常	バッテリパックが接続されていません。 バッテリパックを確実に搭載してください。
		Batt Vol End	バッテリ放電終止	バッテリ放電終止です。
		Batt Vol Low	バッテリ電圧低下	バッテリ電圧が低下しています。
		CHG Error	充電器異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		CONV Error	コンバータ異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		FIN Temp Error	フィン温度異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		DSP Error	コントローラ異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		BUS Error	直流電圧異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		AUX2 Error	補助電源異常（軽故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		BF Circuit Error	バックフィード防止回路 異常（重故障）	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		Total Unit# Err	総ユニット数エラー （重故障）	「§3.19」で設定したUPSユニット台数と、実際に運転しているUPS ユニットの台数が異なっています。UPSユニットの状態を確認してください。
		LCD Error	LCDパネル異常	LCDパネルが故障しています。購入先または当社へ連絡してください。
		Minor Error	軽故障	購入先または当社へ連絡してください。
		Fatal Error	重故障	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		FT Disabled	冗長運転不可（軽故障）	「§3.20」で運転システムを「N+1」に設定している場合、 UPSに接続されている負荷容量が多く、並列冗長運転ができない状態です。 接続している負荷機器を減らしてください。
		Check Unit Error	ユニット異常あり、確認要	ユニット間の通信異常の可能性があります。 ユニット間を接続しているケーブルを確認してください。

※.「§8 計測情報表示について」をご覧ください。

§8. 計測情報表示について

バッテリ充電率表示について

(1) バッテリは出荷時に充電されていますが、ＵＰＳ初起動時、ＬＣＤパネルでバッテリ充電率「ChgRate =　%」を表示させると「0%」と表示されます。充電率はＵＰＳの運転時間に応じて増加しますので、ＵＰＳ本体の取扱説明書「ＵＰＳを充電する」の項目をご覧になりＵＰＳを運転してください。充電率が100%と表示されるまでの時間は、接続されているバッテリの構成により異なります。

(2) ＵＰＳのバッテリが十分に充電されている場合でも、ＵＰＳをいったん停止させてから再度運転すると、充電率「ChgRate =　%」が80%または90%と表示されることがあります。これは周囲温度などの環境に影響されるためで、1～2時間程ＵＰＳを運転すると正常に表示されます。

(3) バッテリが正しく接続されていない状態でＵＰＳを運転すると、充電率「ChgRate =　%」が正常に表示されません。この状態のときは、バッテリを正しく接続し直し再度ＵＰＳを運転しても正常な値はすぐに表示されません。
ＵＰＳを12時間以上通常運転すると正常な値が表示されます。なお、正常な値が表示されるまでの時間は、ＵＰＳの仕様（バッテリの構成）により異なります。

(4) 表示される充電率「ChgRate =　%」は目安です。実際の充電率と異なる場合もあります。

バッテリ残保持時間表示について

(1) バッテリ残保持時間「RunTm =　Min. 」は 負荷率が30%以下の場合、正確に表示されないことがあります。

(2) 表示されるバッテリ残保持時間「RunTm =　Min. 」は目安です。実際の保持時間と異なる場合もあります。

(3) 計画停電などが予定されている場合は、事前にバッテリテストを実施し、実際にバックアップできることを確認してください。バッテリテストについては「§4.1 バッテリテストをする」をご覧ください。

負荷率表示について

(1) 「§3.20 運転システムを設定する」で設定値を「N+1」に設定しても、ＵＰＳの計測情報表示で表示される負荷率「LF =　%」は、「None」に設定した場合と同じです。
下表をご覧になり、記載されている最大負荷率を超えて使用しないでください。
「N+1」に設定した場合、最大負荷率を超えたまま使用すると、並列冗長運転システムとしては運用できません。また、機種によっては出力が停止する場合があります。
なお、「N+1」に設定し、最大負荷率を超えると、「FT Disabled」とＬＣＤ画面に表示されます。並列冗長運転ができない状態ですので、接続している負荷機器を減らしてください。

運転システムの設定値による最大負荷率

ＵＰＳ	運転システム	最大負荷率
ＵＰＳＳ－１００Ｘ２	None	100%
	N+1	50%
ＵＰＳＳ－１５０Ｘ２	None	100%
	N+1	65%
ＵＰＳＳ－２００Ｘ２	None	100%
	N+1	75%

UPS ソリューションズ株式会社

【本社】〒101-0032
東京都千代田区岩本町 2-13-6 ミツボシ第 3 ビル
TEL : 03-5833-4061　FAX : 03-3861-0920
テクニカル・サポートグループ

【西日本支店】〒532-0011
大阪市淀川区西中島 6-11-25 第 10 新大阪ビル 6F
TEL : 06-6838-4881　FAX : 06-6838-4882

【北海道営業所】〒060-0004
札幌市中央区北4条西 12-1-28 北 4 条ビル 7F
TEL : 011-280-0015　FAX : 011-280-0016

【中部営業所】〒464-0074
名古屋市千種区仲田 2-15-12　ワークビル 4F
TEL : 052-734-9200　FAX : 052-734-9500

【九州営業所】〒812-0011
福岡市博多区博多駅前 2-20-15 第 7 岡部ビル 3F
TEL : 092-481-3441　FAX : 092-481-3442

http:// www.ups-sol.com/　　support@ups-sol.com

受付時間 平日 9:00～18:00（当社休日を除く）

本取扱説明書に記載された会社名と商品名は、それぞれ各社の称号、商標または登録商標です。
※本取扱説明書記載の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

各種ダウンロード URL　http://www.ups-sol.com/download/index.html